

2023年2月14日

2022年12月期 第4四半期決算説明資料



DuluxGroup



目次

□ 2022年第4四半期決算 サマリー・トピックス	・・・ P.3
□ 補足資料	・・・ P.14
1. 2022年第4四半期決算 連結ハイライト	・・・ P.15
2. 2022年第4四半期決算 セグメント別	・・・ P.18
3. 2022年通期決算	・・・ P.27
(巻末) 参考データ	

<本資料の開示データについて>

- 短信ベース・実質ベースの2通りで記載
- 実質ベースとは、継続的な事業の収益力について前年からの変化を示すため、M&Aによる新規連結影響や一時的な要因により発生した損益を調整して算出
- 本資料における定性情報は、基本的に実質ベースで記載
- 実質ベースにおける主な調整項目は右記の通り。詳細は巻末の参考データに記載（為替影響、補助金等、M&A関連費用、新規連結など）
- 巻末の参考データにおいて、DuluxGroup社、Betek Boya社、PT Nipsea社、新規連結Cromology社、新規連結JUB社の四半期業績推移を掲載

1. 2022年第4四半期の決算概況

2022年4Q※1



(短信ベース)

(億円)	実績	YoY
売上収益	3,291	+25.6%
営業利益	295	+36.8%
営業利益率	8.9%	+0.7pt

(実質ベース)

(億円)	実績	YoY
売上収益	2,929	+11.7%
営業利益	313	+49.9%
営業利益率	10.7%	+2.7pt

◆ 短信ベース

- ・ 建築用などの製品値上げの浸透や、Cromology社、JUB社の新規連結効果、為替影響などにより、増収
- ・ 原材料費率の改善により、売上総利益率は前期比、前四半期比ともに2四半期連続で改善
- ・ トルコの急激なインフレ加速に伴い、超インフレ会計を適用（4Qは売上収益c.※2-21億円、営業利益c.-17億円）
- ・ 希望退職制度「ネクストキャリアプラン」の特別退職金等の費用として、c.22億円を計上
- ・ 営業利益は、上記の一過性費用などを計上するも、増収・粗利改善効果により、増益
- ・ 中国Projectにおいて、追加の貸倒引当金は計上せず。ただし、中国合併会社において持分法投資損失を計上するなど、連結全体で19億円の持分法投資損失を計上

◆ 実質ベース

- ・ 中国の建築用は、DIYにおいて12月にロックダウンが広範囲で緩和されたことでコロナ感染者数が増加し、経済活動が阻害されたことにより、-4%減収。Projectは軟調な不動産市場の影響を受けて、-22%減収
- ・ 建築用は、製品値上げの浸透が進むなど、中国・米州以外で増収
- ・ 自動車用は、生産台数が大きく落ち込んだ前年からの反動増もあり、全地域において増収

◆ その他

- ・ 2022年度末基準日時点の東京証券取引所プライム市場上場維持基準審査において、流通株式比率を含めて全ての基準を充足

売上収益 YoY分析

塗料・コーティング事業			塗料周辺事業	為替影響	新規連結影響
販売数量	価格/ミックス	塗料事業 (その他)※3			
c. -2%	c. +9%	c. +3%	c. +3%	c. +4%	c. +10%

2. 2022年通期の決算概況

2022年通期※1



(短信ベース)

(億円)	実績	YoY
売上収益	13,090	+31.1%
営業利益	1,119	+27.7%
営業利益率	8.5%	-0.2pt
当期利益※2	794	+19.3%
EPS	33.82円	+15.0%

(実質ベース)

(億円)	実績	YoY
売上収益	11,385	+14.1%
営業利益	1,078	+16.1%
営業利益率	9.5%	+0.2pt

◆ 短信ベース

- ・【売上収益:過去最高】建築用を中心とした継続的な製品値上げや新規連結効果、為替影響もあり増収となるも、8月発表の業績予想値(1兆3,200億円)は僅かに未達
- ・【営業利益:過去最高】原材料価格の高騰や中国引当金など一過性費用の計上、超インフレ会計の適用も、増収効果による増益となり、業績予想値(1,050億円)を超過
- ・【当期利益・EPS】営業増益効果により、当期利益、EPSともに業績予想値(それぞれ720億円、30.66円)を超過

◆ 実質ベース

- ・新規連結効果や補助金、M&A費用、貸倒引当金などの一過性要因を除外した上でも、増収増益を達成

<主な要因>

- ↑ 中国DIYは、製品値上げの浸透や3～6級都市での販売好調により、+12%増収
- ↑ Betek Boya社は、製品値上げの浸透とブランド施策の奏功などにより、増収
- ↑ DuluxGroup社は、プロ向け市場での販売好調と製品値上げにより、増収
- ↑ 自動車用は、半導体不足などが解消しない中、生産台数の前年からの反動増もあり、日本以外で増収
- ↑ 日本は、建築用や工業用での製品値上げの浸透や拡販施策の奏功により、増収
- ↓ 中国Projectは軟調な不動産市場の影響を受けて、-10%減収
- (参考) ↑ 新規連結2社は、軟調な市況環境を背景に数量面では前期並みも、製品値上げが奏功し、増収

売上収益 YoY分析

塗料・コーティング事業			塗料周辺事業	為替影響	新規連結影響
販売数量	価格/ミックス	塗料事業 (その他)※3			
c. -1%	c. +9%	c. +3%	c. +3%	c. +6%	c. +11%

3. 2023年通期予想

2023年通期予想



(短信ベース)

(億円)	予想	YoY
売上収益	14,000	+7.0%
営業利益	1,400	+25.1%
営業利益率	10.0%	+1.5pt
税引前利益	1,340	+28.2%
当期利益※1	980	+23.4%
EPS	41.73円	+23.4%
年間配当金	13円	+2円

◆ 概要

- 2023年は、建築用における各地域での製品値上げの浸透や中国・アジアでのコロナからの復調に加え、グローバル自動車市場の回復などにより、売上収益は+7.0%増と過去最高を見込む
- 原材料市況は、景気減速による需要減とコロナ回復に伴う需要増の地域が混在し、価格動向は異なるも、原材料費率は総じて改善の見通し
- 上記に加え、前年一過性費用の解消などにより、営業利益も+25.1%増と過去最高を予想
- 為替レートは、グローバル市場の不透明感を背景に足元の実勢よりも円高で想定し、125円/米ドルで計画
- EPSは41.73円(前期比+23.4%)、年間配当金は13円(前期比+2円)をそれぞれ予想

◆ 売上収益(前期比+7.0%)

- 建築用市場は、先進国において景気減速や金利上昇、インフレ影響に伴い市場は伸び悩む想定。一方、中国TUB※2市場は政府の需要喚起策などで前年並みに推移する見通し。中国TUC※2市場やアジアではコロナからの復調に加え、各地域で製品値上げが浸透し、建築用は継続成長
- 自動車用は、半導体不足などの影響は残るも、自動車生産台数の回復を見込む
- JUB社は通年寄与(+5ヵ月分)、NPT社は業績予想に含まず

◆ 営業利益(前期比+25.1%)

- 2022年の一過性費用(中国引当金や希望退職制度など)と一過性利益(補助金など)の解消で合計c.+100億円
- 為替を前期に比べて円高で想定し、c.-30億円
- 増収効果(製品値上げの浸透などの既存事業成長)や原材料費率の改善でc.+210億円

	2022年 通期	2023年 通期予想
円/米ドル	132.1	125.0
円/人民元	19.5	19.0
円/豪ドル	91.2	90.0
円/ユーロ	138.5	140.7
円/トルコリラ	7.1	6.6
円/インドネシアルピア	0.0088	0.0083

4. 2023年通期予想の諸前提 (1)

		売上収益		営業利益率		定性情報
		2022年実績 (短信ベース/億円)	2023年予想 (現地通貨ベース)	2022年実績 (短信ベース/%)	2023年予想 (現地通貨ベース) ※1	
日本	セグメント合計	1,861	+5%前後	2.8%	↑	
	自動車用	351	+0~5%			半導体や部品不足などの影響が残るも、自動車生産台数の復調と製品値上げの浸透などにより、増収を見込む
	汎用	478	+5~10%			DXを活用した顧客開拓、販売強化や高機能差別化製品の開発・拡販などにより、市況を上回る増収を見込む
	工業用	400	+5~10%			部品不足などを背景に大幅な市況回復が期待しにくい中、積極的なシェア拡大施策や製品値上げを推進し、増収を見込む
Nipsea 中国	セグメント合計	4,507	+5~10%	7.8%	↑	
	汎用 (TUC)	3,742※2	+10~15%			特に3~6級都市での高い成長とシェア拡大を追求しつつ、高意匠塗料の活用による内装会社や独立系デザイナーへの拡大に取り組むことにより、増収を見込む
	汎用 (TUB)		+0~5%			EtoEのコーティングソリューションの開発と促進、大規模で高品質、財務的に安定した収益性の高い顧客への注力、インフラ、公営住宅、政府関連プロジェクトからの貢献による拡大などにより、増収を見込む
	自動車用	501	+10~15%			自動車部品、EV (電気自動車) 基幹部品事業の拡大、戦略的重要顧客との関係強化と事業拡大に向けた取り組みの継続により、増収を見込む

◆事業の進化をより適切に反映するべく、2023年通期予想より、中国汎用の内訳を販売チャネル別に「TUC」と「TUB」に変更

- TUC (Trade Use Consumer) : BtoCビジネス
消費者向け事業、DIY事業、代理店・販売店経由の売り上げ、Eコマースなど (ご参考) 2022年実績: 前年比+10%
- TUB (Trade Use Business) : BtoBビジネス
Project顧客や主要建設会社との取引など (ご参考) 2022年実績: 前年比-14%
- その他
木工塗料、香港・台湾事業、原材料販売など (ご参考) 2022年実績: 前年比+102%

4. 2023年通期予想の諸前提 (2)

		売上収益		営業利益率		定性情報
		2022年実績 (短信ベース/億円)	2023年予想 (現地通貨ベース)	2022年実績 (短信ベース/%)	2023年予想 (YoY・ 現地通貨ベース) ※1	
Nipsea 中国以外	セグメント合計	2,578	+10%前後	14.6%	→	
	マレーシアグループ シンガポールグループ タイグループ		+0~5%		→	ソリューションと革新的な製品の開発、消費者・プロに支持されるブランドの確立、既存の流通網の強みを活用し、塗料周辺事業の拡大と成長を加速することにより、増収を見込む
	PT Nipsea社 (インドネシア)	523	+15%前後	31.9%	↘	塗装ツールやアクセサリからSAF (密封剤、接着剤、充填剤)、潤滑剤までのトータルコーティングソリューションに向けた新しい製品ラインアップの拡充と提供、色彩分野でのリーダーシップと消費者からのブランド認知度、選好度を向上、流通網の継続的な拡大により、増収を見込む
	Betek Boya社 (トルコ)	705	+30%前後	8.7%	→	ブランドイメージの強化とプレミアムなポジションを維持、品質からアプリケーションの利便性に至るまで競合他社との差別化を図る革新的なETICS※2製品とサービスの開発により、増収を見込む
DuluxGroup	セグメント合計	3,149	+5~10%	9.4%	→	
	DuluxGroup社 (豪州)	2,066	+5~10%	12.3%	→	製品値上げの浸透とプロ向けDIFM市場での成長が、消費者向けDIY市場での販売数量減を部分的に補い、増収を見込む
	Cromology社 (欧州)	975	+5~10%	4.2%	↗	欧州市場のさらなる低迷を見込むも、主に製品値上げによって、増収を見込む
	JUB社 (欧州)	(ご参考) 199※3	+5~10%	(ご参考) 4.9%	↗	欧州市場のさらなる低迷を見込むも、主に製品値上げによって、増収を見込む
米州	セグメント合計	995	+0~5%	8.1%※4	→	
	自動車用	323	+5~10%			半導体や部品不足などの影響が残るも、自動車生産台数の復調と製品値上げの浸透などにより、増収を見込む
	汎用	657	±0%前後			米国経済の減速や金利上昇、インフレ影響による需要減退から、前期並みを見込む

5. 原材料市況・当社状況

製品値上げの浸透と原材料費率の低減によるマージン改善を追求

2022年4Q

- 中国におけるゼロコロナ政策（現在は解除）、欧米におけるインフレ対策に伴う政策金利の引上げに伴い、世界的に経済活動は減速傾向
- 原油は70～80米ドルで常態化している一方、国産ナフサは第2四半期の8.6万円をピークに、足元では円高の進展もあって6.0万～7.0万円で推移
- 第3四半期以降、原油・ナフサ以外（燃料コスト、物流、設備老朽化による投資費用の転嫁など）の価格転嫁が激しさを増しており、原油・ナフサ下落の恩恵を享受できない状況が継続
- 原材料費率はその他アジア、トルコなどで低下傾向にあり、売上総利益率は前期比、前四半期比ともに2四半期連続で改善

売上総利益率

21年4Q	22年1Q	22年2Q	22年3Q	22年4Q	前期比	前四半期比
37.2%	38.0%	36.1%	36.8%	38.3%	+1.1pt	+1.5pt

2023年1Q以降

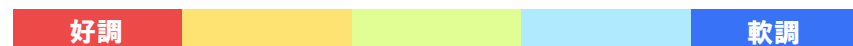
- 中国におけるゼロコロナ政策の解除によって需要増加への期待が先行し、原油・ナフサも含めたコモディティ商品市況が再び上昇する兆しも
- 欧米の景気減速や円高進展もあり、原油市況は引き続き70～80米ドル台、ナフサは7.2万円程度で推移する見通し
- 製品値上げ効果と相まって、売上総利益率は前期比で改善の見通し
- 中長期的には、製品価格の値上げや原材料費率の低下によるマージン改善は十分可能な見通し

6. 市況・事業環境

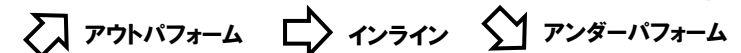
2023年のグローバル自動車市場は、半導体不足などの影響は残るも、自動車生産台数の回復を見込む

		日本	Nipsea中国		豪州	米州	欧州
2022年 第4四半期	自動車	⇒	↗		△	⇒	△
	建 築	⇒	↗ DIY	↗ Project	⇒	⇒	⇒
2023年 第1四半期 見通し	自動車				△		△
	建 築		TUC	TUB			
2023年 通期 見通し	自動車				△		△
	建 築		TUC	TUB			

■ 市況 (前年同期比)



■ 業況 (市場対比)※



※当社推定

7. 主要セグメントの決算概況

(億円)		短信ベース		実質ベース		概要
		22年4Q	YoY	22年4Q	YoY	
日本	売上収益	513	+13.7%	508	+12.5%	▶汎用 ▶自動車用 顧客向けキャンペーンや主力製品のブランドリニューアルなど、拡販に向けたプロモーションが奏功し、増収 半導体不足の影響などは継続するも、自動車生産台数が大幅に落ち込んだ前年からの反動増もあり、増収 ※2022年第1四半期より、国内機能会社 (NPCS※ ¹) にかかる費用を日本セグメントに計上 (2021年の同費用相当額は、調整項目として表示)
	営業利益	10	-24.7%	31	+134.1%	
Nipsea 中国	売上収益	1,022	+6.4%	932	-3.1%	▶汎用 (DIY) 12月にロックダウンが広範囲で緩和されたことでコロナ感染者数が増加し、経済活動が阻害されたことにより、-4%減収 ▶汎用 (Project) 需要低迷と軟調な不動産市場の影響を受けて引き続き低調に推移し、-22%減収 ▶自動車用 半導体供給などのサプライチェーン改善を受け、自動車生産台数が大きく落ち込んだ前年からの反動増により、増収
	営業利益	97	+5.1%	84	+5.5%	
Nipsea 中国 以外	売上収益	674	+25.8%	778	+45.2%	▶Nipsea 中国以外 全体では+45.2%増収。マレーシアGr.・シンガポールGr.は製品値上げの浸透などによる成長により、増収。タイGr.は自動車生産台数の前年からの反動増に加え、完成車メーカー、部品メーカーにおけるシェア上昇により、増収 ▶PT Nipsea社 製品値上げの浸透や販売網の拡大、代理店の拡充、CCM※ ² の普及、工業用の成長により、増収 ▶Betek Boya社 製品値上げの浸透に加え、ブランド戦略の奏功により、増収
	営業利益	129	+24.6%	138	+33.4%	
Dulux Group	売上収益	833	+71.9%	508	+4.9%	▶DuluxGroup社 (汎用) 原材料高騰に対応した製品値上げにより、増収。ただし、コロナ影響によってDIY需要が一時的に高まった前期からの反動もあって、消費者向けDIY市場は低調に推移しており、数量面では伸び悩む ▶Cromology社 原材料価格の高騰に対応した製品値上げが、市場が弱含むフランス事業の数量減を吸収し、増収 ▶JUB社 市況が弱含む中、販売数量が前期並みにとどまるも、原材料価格の高騰に対応した製品値上げの奏功より、増収
	営業利益	58	+99.5%	62	+87.8%	
米州	売上収益	249	+32.5%	202	+7.5%	▶汎用 製品値上げの効果も、米国の経済減速や金利上昇、インフレ影響で数量が伸び悩み、前期並み ▶自動車用 半導体不足の影響などは継続するも、自動車生産台数が大幅に落ち込んだ前年からの反動増もあり、増収
	営業利益	8	-	6	-	
調整	売上収益	-	-	-	-	※2022年第1四半期より、上場機能および純粋持株会社機能にかかる費用のみを調整項目に計上
	営業利益	-8	-	-8	-	

8. 主なトピックス①

DuluxGroup社による欧州塗料周辺製品メーカー NPT社の買収(2月6日発表)

- ・イタリアで密封剤や接着材などを扱うNPT社の株式のうち、51%の取得を決定。残り49%の株式は、経時的にDuluxGroup社が取得、または相手先がDuluxGroup社に売却可能
- ・NPT社の強力なブランド、高い技術力、幅広い流通網などとSelleys※の知見の活用を通じて、欧州塗料周辺市場でのさらなる地盤構築を進めるだけでなく、より広範な成長機会の創出を進める
- ・2023年上期中のクロージングを目指し、買収初年度よりEPSにプラス貢献する見込み

◇NPT社の概要

- ・会社名 : N.P.T. s.r.l.
- ・本社 : イタリア
- ・事業内容: 密封剤や接着剤などを製造・販売し、60ヵ国以上に輸出
- ・売上高 : 約70億円(2021年度)

自動車用の岡山工場が竣工(2月7日発表)

- ・生産性・安全性のさらなる向上と生産プロセスにおける省エネルギー・低炭素への対応に向けて、ESGに配慮した工場運営を志向
- ・本格稼働は本年秋ごろを予定

◇岡山工場の概要

- ・住 所: 岡山県 勝田郡勝央町 太平台33-1
- ・敷地面積: 81,600㎡ ・建屋面積: 延べ4,700㎡
- ・建屋概要: 工場棟(鉄骨造3階建)、危険物倉庫棟(鉄骨造 平屋建)、業務棟(鉄骨造2階建)
- ・生産品目: 自動車用塗料(上塗り、水性中塗り、プラスチック用など)
- ・生産能力: 4,500t/年
- ・投資額: 44億円



岡山工場 工場棟

8. 主なトピックス②

Nipsea中国が多数のブランド賞を獲得

- 継続的な受賞は顧客や消費者からの信頼の証であり、今後も価値を提供するブランドとして製品やサービスの改良を継続していく

Chnbrand
中国ブランド指数 (C-NPS)

壁面塗料部門・木工用
塗料部門

第1位 (5度目)



People's Daily Online
2022年全国消費会議

2022 国民消費者・
影響力のあるブランド

選定



CIAA
(Chinese Industry Association for Antimicrobial Materials and Products)

抗菌業界のリーディングカンパニー賞
CIAA建設業先進企業賞

受賞



「Transform Awards Asia 2022」と「Transform Awards ANZ 2022」で複数の賞を獲得

- Transform Magazineが主催する「Transform Awards 2022」のアジアとANZ※部門において、複数の賞を獲得

アジア部門	
シルバー	- Best external stakeholder relations during a brand development project
ブロンズ	- Best brand architecture solution - Best internal communications during a brand development project - Best brand evolution (corporate)

ANZ部門	
ゴールド	- Best external stakeholder relations during a brand development project - Best brand evolution (corporate)
ブロンズ	- Best internal communications during a brand development project
優秀賞	- Best brand architecture solution

◇Transform Awards

グローバルでは唯一のブランディングおよびリブランディングについて扱う雑誌「Transform Magazine」が毎年ロンドン、ドバイ、ムンバイ、ニューヨーク、シンガポール、ストックホルム、シドニーで開催するアワード。ブランディング・リブランディングについて、コンテンツ、プロセス、戦略などさまざまなカテゴリーで評価を行う。

Transform Awards Asiaは今回で9回目、Transform Awards ANZは今回で3回目を迎える。

▶ Transform Awards: <https://www.transformmagazine.net/awards/>



8. 主なトピックス③

ガバナンスのウェブ企画「独立社外取締役への質問（一問一答）」連載開始

- 投資家の皆様との対話を通じていただいたガバナンス関連のご意見やご質問に、筆頭独立社外取締役の中村昌義が回答（毎月末日に定期更新）

▶独立社外取締役への質問（一問一答）：<https://www.nipponpaint-holdings.com/sustainability/governance/q-and-a/>



ガバナンスのウェブ企画「独立社外取締役の視点」連載開始

- 多様な経験に裏打ちされた強み・スキルを持つ個々の独立社外取締役が、独自の視点において当社の強みや課題を分析し、少数株主利益の保護やMSVの実現に向けた考えを紹介（不定期更新）

▶独立社外取締役の視点：<https://www.nipponpaint-holdings.com/sustainability/governance/directors/>



補足資料

1. 2022年第4四半期決算 連結ハイライト … P.15
2. 2022年第4四半期決算 セグメント別 … P.18
3. 2022年通期決算 … P.27

(巻末) 参考データ

1. 2022年第4四半期決算 連結ハイライト

1-1. 決算ハイライト (連結)

(億円)	短信ベース			実質ベース			
	2021年 4Q	2022年 4Q	YoY (%)	2021年 4Q	2022年 4Q	YoY (額)	YoY (%)
売上収益	2,620	3,291	25.6%	2,622	2,929	307	11.7%
営業利益	215	295	36.8%	209	313	104	49.9%
営業利益率	8.2%	8.9%	0.7pt	8.0%	10.7%	-	2.7pt
EBITDA	303	427	40.7%	-	-	-	-
EBITDAマージン	11.6%	13.0%	1.4pt	-	-	-	-
税引前利益	211	243	14.9%	205	263	58	28.2%
四半期利益※	179	242	35.3%	174	277	103	59.2%

売上収益

- 短信ベースでは前年同期比+25.6%、実質ベースでは+11.7%の増収
- 短信/実質ベースの差は、Cromology社やJUB社の新規連結効果、為替影響などによるもの
- 製品値上げが浸透している建築用に加えて、自動車生産台数が大きく落ち込んだ前年からの反動増があった自動車用が増収

営業利益

- 短信ベースでは前年同期比+36.8%、実質ベースでは+49.9%の増益
- 短信/実質ベースの差は、Cromology社やJUB社の新規連結効果、為替影響などによるもの
- 製品値上げの浸透などの増収効果により、増益

1-2. 決算ハイライト (セグメント別)

(億円)

		短償ベース			実質ベース			
		2021年 4Q※1	2022年 4Q	YoY (%)	2021年 4Q※1	2022年 4Q	YoY (額)	YoY (%)
日本	売上収益	451	513	13.7%	451	508	57	12.5%
	営業利益※2	13	10	-24.7%	13	31	18	134.1%
Nipsea	売上収益	1,496	1,696	13.3%	1,498	1,711	213	14.2%
	営業利益	196	226	15.4%	183	222	39	21.2%
DuluxGroup	売上収益	485	833	71.9%	485	508	24	4.9%
	営業利益	29	58	99.5%	33	62	29	87.8%
米州	売上収益	188	249	32.5%	188	202	14	7.5%
	営業利益	-3	8	-	-3	6	10	-
調整※3	売上収益	-	-	-	-	-	-	-
	営業利益	-19	-8	-	-17	-8	9	-
合計	売上収益	2,620	3,291	25.6%	2,622	2,929	307	11.7%
	営業利益	215	295	36.8%	209	313	104	49.9%

※1 P3注記記載の通り、2021年第4四半期の遡及修正を実施

※2 2022年第1四半期より、国内機能会社 (NPCS) にかかる費用を日本セグメントに計上 (2021年の同費用相当額は、調整項目として表示)

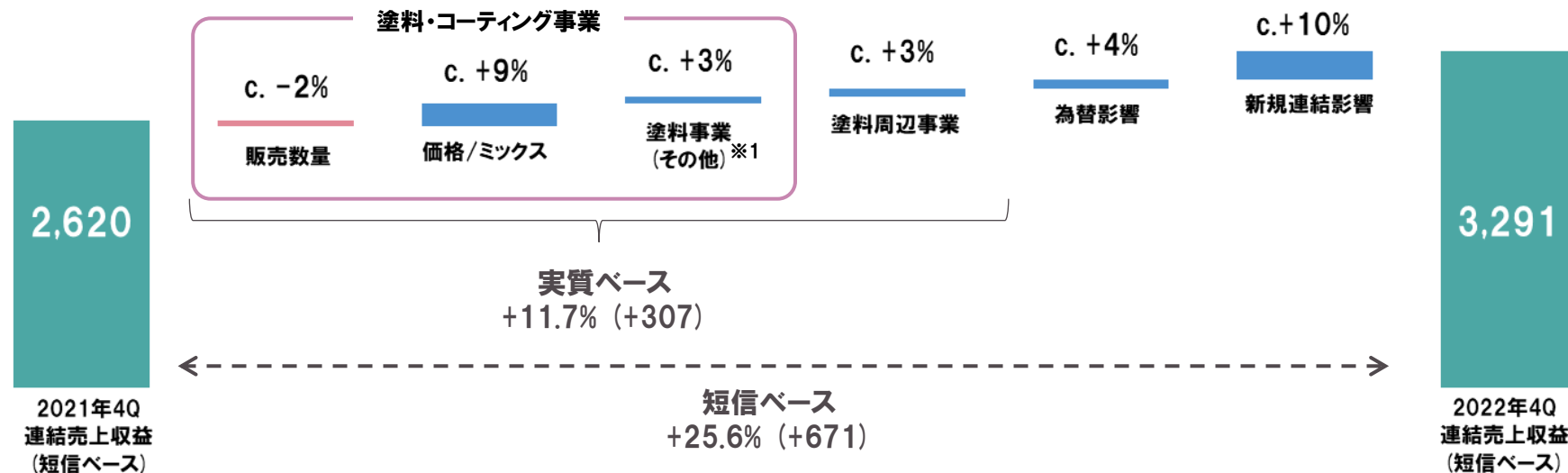
※3 2022年第1四半期より、上場機能および純粋持株会社機能にかかる費用のみを調整項目に計上

2. 2022年第4四半期決算 セグメント別

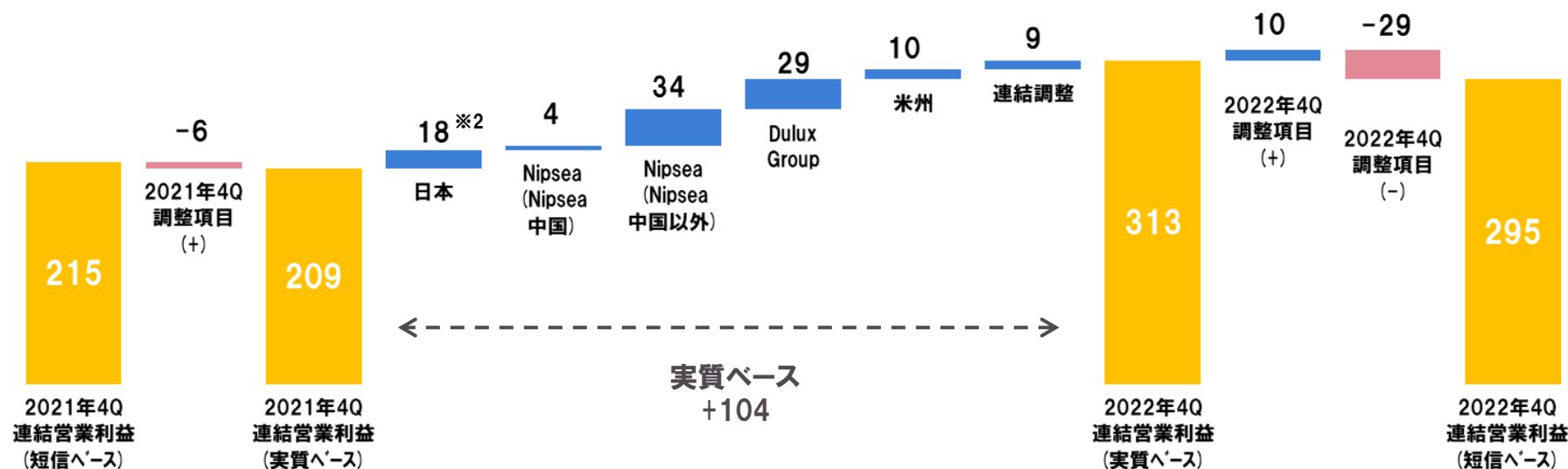
2-1. 売上収益・営業利益分析

(億円)

売上収益



営業利益



2-2. 日本

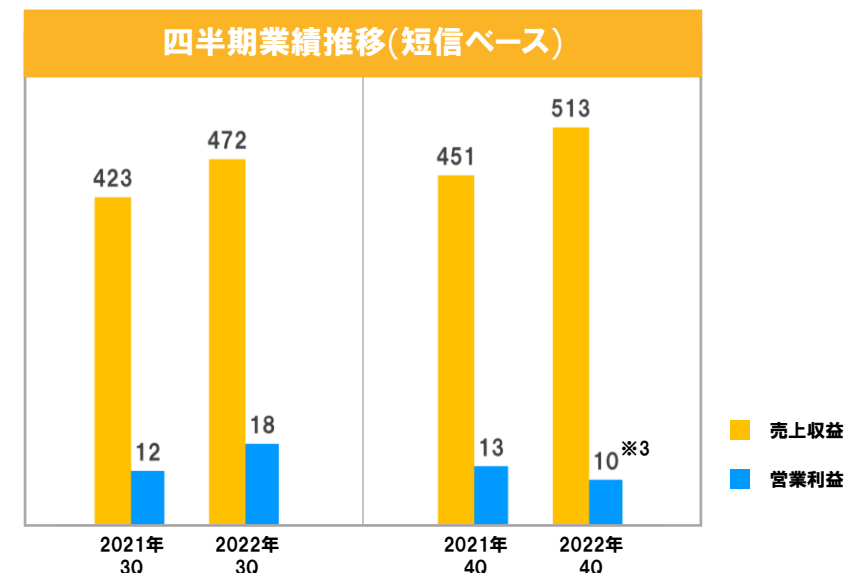
(億円)

(億円)		短信ベース			実質ベース			
		2021年 4Q	2022年 4Q	YoY (%)	2021年 4Q	2022年 4Q	YoY (額)	YoY (%)
売上収益	自動車用	89	100	12.0%	89	100	11	12.0%
	汎用	121	127	4.8%	121	127	6	4.8%
	工業用	100	105	4.9%	100	105	5	4.9%
	ファインケミカル	18	21	21.7%	18	21	4	21.7%
	その他 ^{※1}	123	160	29.8%	123	155	31	25.4%
	合計	451	513	13.7%	451	508	57	12.5%
営業利益 ^{※2}		13	10 ^{※3}	-24.7%	13	31	18	134.1%
営業利益率		2.9%	1.9%	-1.0pt	2.9%	6.1%	-	3.1pt

※3 短信ベースには、特別退職金c.22億円を含む

主な増減要因

- 自動車用 : 半導体不足などによる部品供給の停滞を引き続き受けるも、自動車生産台数が大きく落ち込んだ前年からの反動増（前年同期比+8%※4）もあり、増収
- 汎用 : 顧客向けキャンペーンや主力製品のブランドリニューアルなど、拡販に向けたプロモーションが奏功し、増収
- 工業用 : 市況低迷によりコイルや住宅向けなどで販売数量が減少したものの、製品値上げが浸透し、増収
- 営業利益 : 製品値上げの浸透や販管費の抑制により、増益（短信ベースでは、特別退職金c.22億円を含む）
- ◇ 前四半期比 : 増収効果も、特別退職金c.22億円の計上により、減益
(短信ベース)



※1 その他には船舶（海外を含む）・自動車補修等の事業を含む

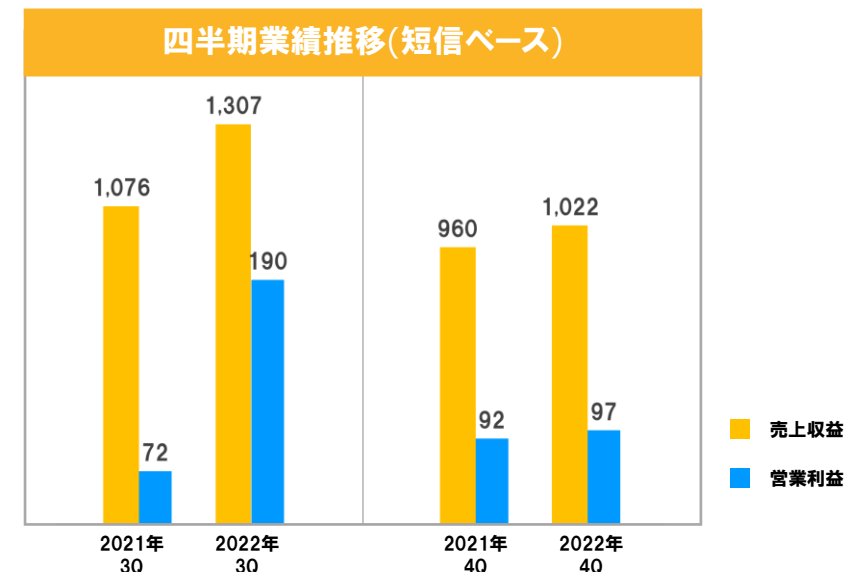
※2 2022年第1四半期より、国内機能会社（NPCS）にかかる費用を日本セグメントに計上（2021年の同費用相当額は、調整項目として表示）

※4 IHS Markit

2-3. Nipsea (Nipsea中国)

(億円)

	短信ベース			実質ベース			
	2021年 4Q	2022年 4Q	YoY (%)	2021年 4Q	2022年 4Q	YoY (額)	YoY (%)
自動車用	107	173	60.9%	107	155	47	44.1%
汎用	781	781	-0.1%	783	715	-67	-8.6%
工業用	65	63	-3.5%	65	57	-8	-12.7%
その他※1	7	6	-16.7%	7	5	-2	-24.4%
合計	960	1,022	6.4%	962	932	-30	-3.1%
営業利益	92	97	5.1%	80	84	4	5.5%
営業利益率	9.6%	9.5%	-0.1pt	8.3%	9.0%	-	0.7pt



主な増減要因

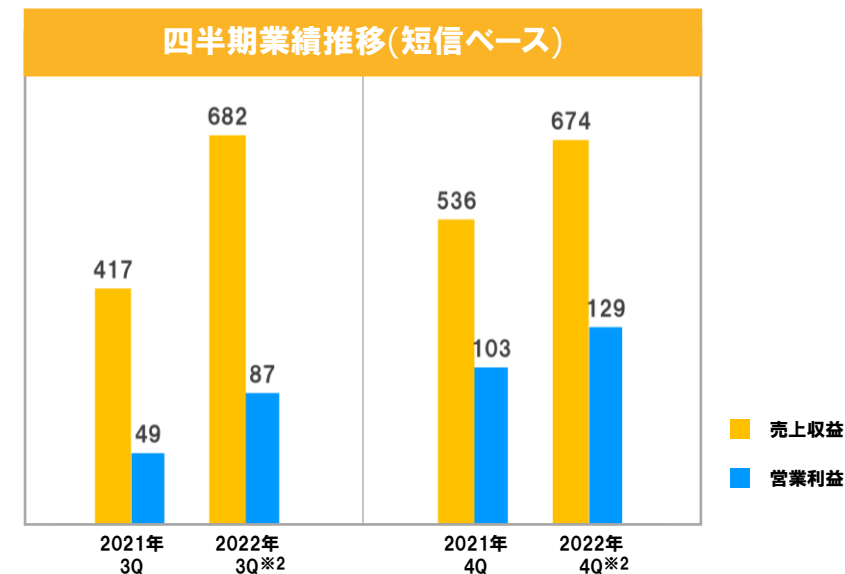
- 自動車用 : 半導体供給などのサプライチェーンの改善を受け、自動車生産台数が大きく落ち込んだ前年からの反動増(前年同期比+6%※2)により、増収
- 汎用 : DIYは、3～6級都市における販売好調も、12月にロックダウンが広範囲で緩和されたことでコロナ感染者数が増加し、経済活動が阻害された影響を受け、-4%減収
Projectは、需要低迷と軟調な不動産市場の影響を受けて引き続き低調に推移し、-22%減収
- 工業用 : コイルや一般工業用、粉体塗料などの全事業がコロナ影響を受けて販売不振となり、減収
- 営業利益 : 中国全体として減収となるも、製品値上げの浸透や自動車用の増収効果により、増益
- ◇ 前四半期比 : 季節性要因により、減収減益
(短信ベース)

2-4. Nipsea (Nipsea中国以外^{※1})

(億円)

	短信ベース			実質ベース			
	2021年 4Q	2022年 4Q ^{※2}	YoY (%)	2021年 4Q	2022年 4Q ^{※2}	YoY (額)	YoY (%)
売上収益	536	674	25.8%	536	778	242	45.2%
営業利益	103	129	24.6%	103	138	34	33.4%
営業利益率	19.3%	19.1%	-0.2pt	19.3%	17.7%	-	-1.6pt

※1 PT Nipsea社 (インドネシア)、Betek Boya社 (トルコ) の業績を含む (詳細は次ページ参照)



主な増減要因

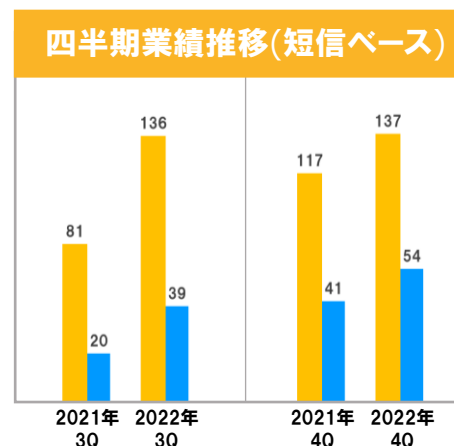
- マレーシアグループ : マレーシアやバングラデシュ、パキスタン、フィリピン、タイ (汎用)、Vital Technical社における製品値上げの浸透などによる成長により、増収
- シンガポールグループ : シンガポールやスリランカ、ミャンマーにおける製品値上げの浸透などによる成長により、増収
- タイグループ : 自動車生産台数が大きく落ち込んだ前年からの反動増 (前年同期比+11%^{※3}) に加え、完成車メーカー、部品メーカーにおけるシェア上昇により、増収
- 営業利益 : 増収効果と原材料費率の改善により、増益
- ◇ 前四半期比 (短信ベース) : 売上収益はトルコのリラ安の影響を受けて前四半期並みにとどまるも、マレーシアやパキスタン、バングラデシュ、タイ、シンガポール、ベトナム、スリランカで売上成長と製品値上げの浸透が進み、増益

2-5. PT Nipsea社 (インドネシア)・Betek Boya社 (トルコ)

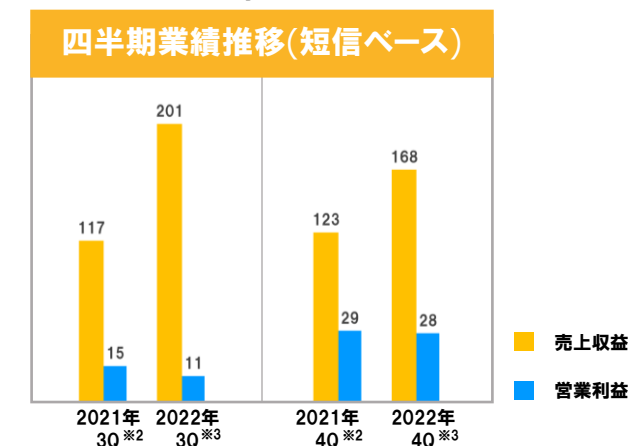
(億円)

		短信ベース			実質ベース			
		2021年	2022年	YoY	2021年	2022年	YoY	YoY
		4Q	4Q	(%)	4Q	4Q	(額)	(%)
PT Nipsea社 (インドネシア)	売上収益	117	137	16.9%	117	124	7	6.0%
	営業利益	41	54	30.5%	41	48	7	17.0%
	営業利益率	35.4%	39.5%	4.1pt	35.4%	39.0%	-	3.7pt
	営業利益率※1	36.0%	40.0%	3.9pt	35.9%	39.5%	-	3.6pt
		短信ベース			実質ベース			
		2021年	2022年	YoY	2021年	2022年	YoY	YoY
		4Q※2	4Q※3	(%)	4Q※2	4Q※3	(額)	(%)
Betek Boya社 (トルコ)	売上収益	123	168	36.6%	123	329	205	166.6%
	営業利益	29	28	-3.3%	29	49	20	68.5%
	営業利益率	23.7%	16.8%	-6.9pt	23.7%	15.0%	-	-8.7pt

PT Nipsea社 (インドネシア)



Betek Boya社 (トルコ)



※3 超インフレ会計を適用後の数値(4Q影響額:売上収益c.-21億円、営業利益c.-17億円)

PT Nipsea社 (インドネシア)

- 売上収益 : 製品値上げの浸透や販売網の拡大、代理店の拡充、CCMの普及、工業用の成長により、増収
- 営業利益 : 増収効果や製造・販管費の節約に向けた事業効率化が奏功し、増益
- ◇ 前四半期比 : 事業成長と季節性要因により、増収
(短信ベース)

Betek Boya社 (トルコ)

- 売上収益 : 製品値上げの浸透に加え、ブランド戦略の奏功により、増収
- 営業利益 : 超インフレ会計の適用による影響※3を受けるも、製品値上げの浸透により、増益
- ◇ 前四半期比 : リラ安の影響を受けて減収となるも、主に季節性要因と原材料費率の改善により、増益
(短信ベース)

2-6. DuluxGroup^{※1}

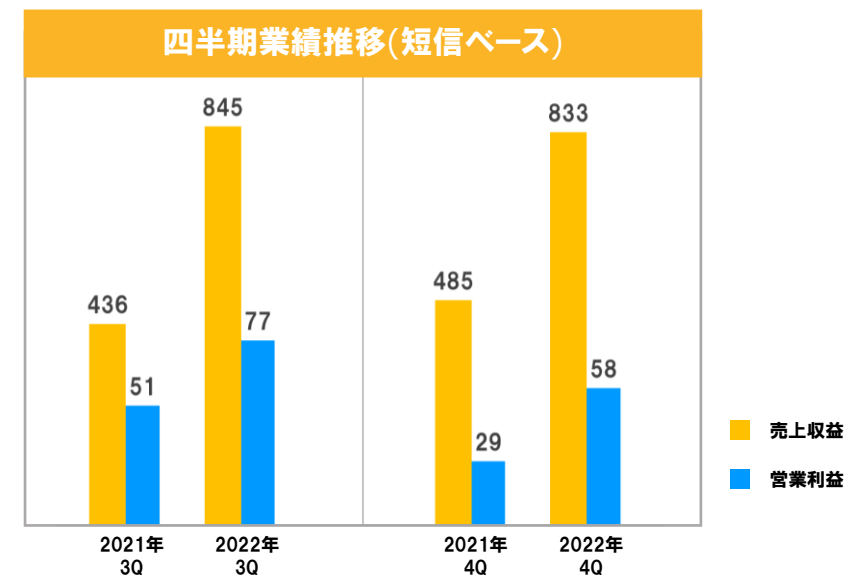
(億円)

	短信ベース			実質ベース			
	2021年 4Q	2022年 4Q	YoY (%)	2021年 4Q	2022年 4Q	YoY (額)	YoY (%)
汎用	253	526	108.1%	253	263	10	4.0%
工業用	20	24	20.9%	20	22	2	9.1%
塗料周辺	212	283	33.6%	212	224	12	5.6%
合計	485	833	71.9%	485	508	24	4.9%
営業利益	29	58	99.5%	33	62	29	87.8%
営業利益率	6.0%	7.0%	1.0pt	6.9%	12.3%	-	5.4pt
営業利益率 ^{※2}	6.7%	8.7%	2.0pt	7.5%	12.9%	-	5.4pt

※1 短信ベースには、新規連結のCromology社、JUB社の業績を含む（詳細は次ページ参照）

主な増減要因

- 汎用 : 原材料高騰に対応した製品値上げにより、増収。ただし、コロナ影響によって一時的にDIY需要が高まった前期からの反動もあって、消費者向けDIY市場は低調に推移しており、数量面では伸び悩む
- 塗料周辺 : 原材料高騰に対応した製品値上げにより、増収。数量面でも、プロ向けの販売が増加
- 営業利益 : 原材料高騰や販売数量の減少を製品値上げで吸収し、販管費を抑制したことで、増益。短信ベースでは、Cromology社、JUB社の業績を含む
- ◇ 前四半期比 : 季節性要因（冬シーズンに当たる欧州での販売低調など）に加え、製品ミックスによる粗利率低下もあり、減益（短信ベース）

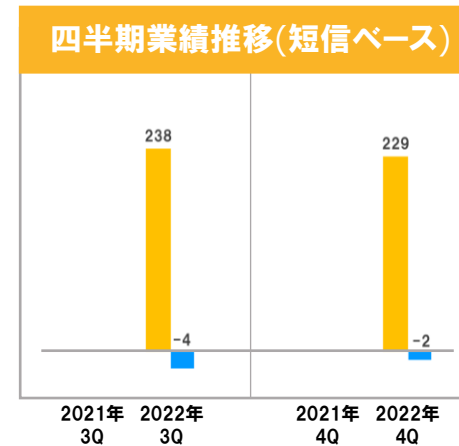


2-7. 新規連結:Cromology社(欧州)・JUB社(欧州)

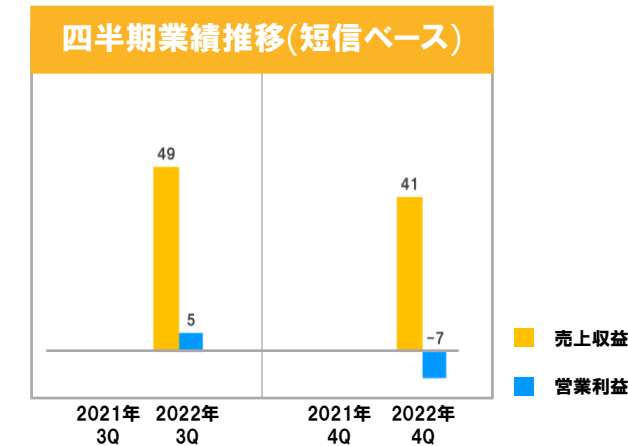
(億円)

		短信ベース			実質ベース			
		2021年 4Q	2022年 4Q	YoY (%)	2021年 4Q	2022年 4Q	YoY (額)	YoY (%)
Cromology社 (欧州)	売上収益	-	229	-	-	-	-	-
	営業利益	-	-2	-	-	-	-	-
	営業利益率	-	-1.0%	-	-	-	-	-
	営業利益率※1	-	1.2%	-	-	-	-	-
		短信ベース			実質ベース			
		2021年 4Q	2022年 4Q	YoY (%)	2021年 4Q	2022年 4Q	YoY (額)	YoY (%)
JUB社 (欧州)	売上収益	-	41	-	-	-	-	-
	営業利益	-	-7	-	-	-	-	-
	営業利益率	-	-16.7%	-	-	-	-	-
	営業利益率※2	-	-3.8%	-	-	-	-	-

Cromology社(欧州)



JUB社(欧州)



Cromology社(欧州) (ご参考:現地通貨ベース概算/売上収益 YoY+5.1%)

- 売上収益(現地通貨ベース) : 原材料価格の高騰に対応した製品値上げが、市場が弱含むフランス事業の数量減を吸収し、増収
- 営業利益(現地通貨ベース) : コスト管理の徹底により、赤字幅縮小
- ◇ 前四半期比(短信ベース) : 冬シーズンの季節性要因で数量が伸び悩み、減収

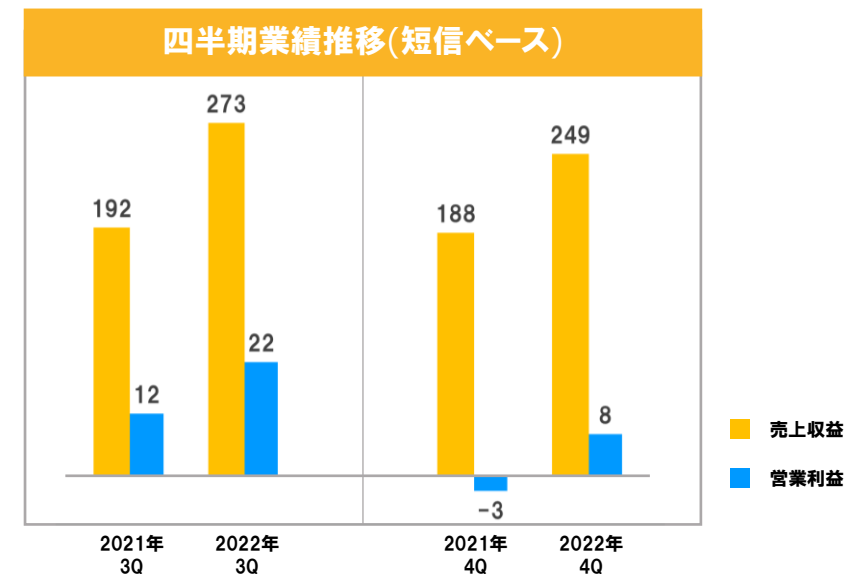
JUB社(欧州) (ご参考:現地通貨ベース概算/売上収益 YoY+4.7%)

- 売上収益(現地通貨ベース) : 市況の弱含みが続く中、販売数量が前期並みにとどまるも、原材料価格の高騰に対応した製品値上げの奏功より、増収
- 営業利益(現地通貨ベース) : PPA償却費(通期)とPPA関連費用(一過性)の計上も、マージン管理の徹底により、赤字幅縮小
- ◇ 前四半期比(短信ベース) : 冬シーズンの季節性要因により、減収

2-8. 米州

(億円)

		短信ベース			実質ベース			
		2021年 4Q	2022年 4Q	YoY (%)	2021年 4Q	2022年 4Q	YoY (額)	YoY (%)
売上収益	自動車用	55	86	55.1%	55	69	14	25.4%
	汎用	129	158	22.9%	129	129	-0	-0.1%
	ファインケミカル	4	5	27.6%	4	4	0	4.6%
	合計	188	249	32.5%	188	202	14	7.5%
営業利益		-3	8	-	-3	6	10	-
営業利益率		-1.8%	3.3%	5.1pt	-1.8%	3.1%	-	4.9pt



主な増減要因

- 自動車用 : 半導体不足の影響などは継続するも、自動車生産台数が大幅に落ち込んだ前年からの反動増(前年同期比+11%※)もあり、増収
- 汎用 : 製品値上げの効果も、米国の経済減速や金利上昇、インフレ影響で数量が伸び悩み、前期並み
- 営業利益 : インフレによる販管費の増加も、自動車用の増収効果もあって、黒字
- ◇ 前四半期比 : 季節性要因と米国の経済減速により、減収減益
(短信ベース)

3. 2022年通期決算

3-1. 決算ハイライト (連結)

(億円)	短信ベース			実質ベース			
	2021年 通期	2022年 通期	YoY (%)	2021年 通期	2022年 通期	YoY (額)	YoY (%)
売上収益	9,983	13,090	31.1%	9,982	11,385	1,403	14.1%
営業利益	876	1,119	27.7%	929	1,078	150	16.1%
営業利益率	8.8%	8.5%	-0.2pt	9.3%	9.5%	-	0.2pt
EBITDA	1,204	1,599	32.8%	-	-	-	-
EBITDAマージン	12.1%	12.2%	0.1pt	-	-	-	-
税引前利益	865	1,045	20.9%	933	987	54	5.7%
当期利益※	666	794	19.3%	726	757	30	4.2%

売上収益

- 短信ベースでは前期比+31.1%、実質ベースでは+14.1%の増収
- 短信/実質ベースの差は、Cromology社やJUB社の新規連結効果、為替影響などによるもの
- 建築用などでの製品値上げの浸透や、自動車用において生産台数の反動増もあり、増収

営業利益

- 短信ベースでは前期比+27.7%、実質ベースでは+16.1%の増益
- 短信/実質ベースの差は、Cromology社やJUB社の新規連結効果、為替影響、中国における引当金の計上などによるもの
- 製品値上げの浸透などの増収効果により、増益

3-2. 決算ハイライト (セグメント別)

(億円)

		短信ベース			実質ベース			
		2021年 通期※1	2022年 通期	YoY (%)	2021年 通期※1	2022年 通期	YoY (額)	YoY (%)
日本	売上収益	1,740	1,861	6.9%	1,740	1,842	101	5.8%
	営業利益※2	95	53	-44.5%	97	78	-19	-19.3%
Nipsea	売上収益	5,716	7,085	24.0%	5,715	6,840	1,124	19.7%
	営業利益	688	727	5.6%	693	757	65	9.3%
DuluxGroup	売上収益	1,762	3,149	78.7%	1,762	1,873	111	6.3%
	営業利益	190	297	55.8%	199	233	34	17.1%
米州	売上収益	764	995	30.3%	764	831	67	8.8%
	営業利益	36	81	124.3%	36	50	14	37.6%
調整※3	売上収益	-	-	-	-	-	-	-
	営業利益	-134	-39	-	-95	-39	56	-
合計	売上収益	9,983	13,090	31.1%	9,982	11,385	1,403	14.1%
	営業利益	876	1,119	27.7%	929	1,078	150	16.1%

※1 P3注記記載の通り、2021年通期の遡及修正を実施

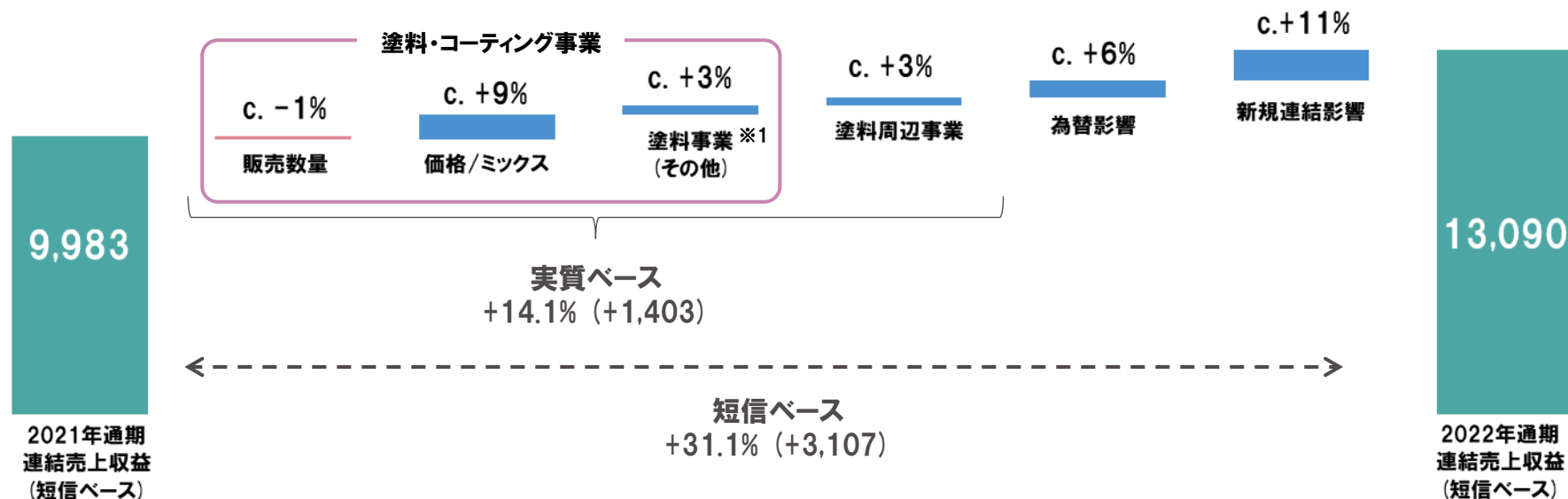
※2 2022年第1四半期より、国内機能会社 (NPCS) にかかる費用を日本セグメントに計上 (2021年の同費用相当額は、調整項目として表示)

※3 2022年第1四半期より、上場機能および純粋持株会社機能にかかる費用のみを調整項目に計上

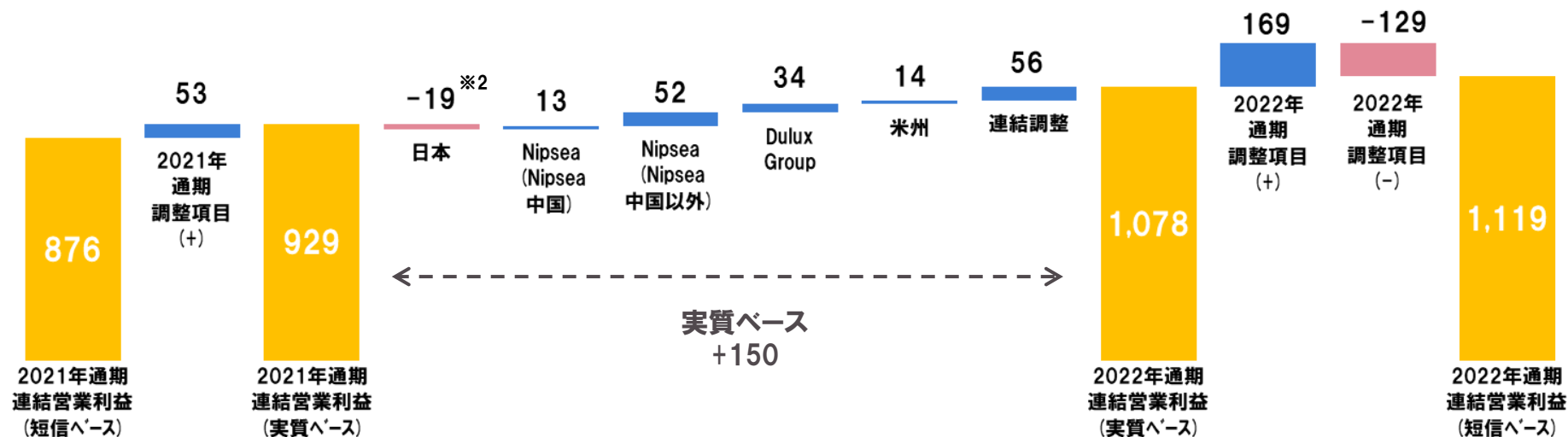
3-3. 売上収益・営業利益分析

(億円)

売上収益



営業利益



3-4. 日本

(億円)

	短信ベース			実質ベース			
	2021年 通期	2022年 通期	YoY (%)	2021年 通期	2022年 通期	YoY (額)	YoY (%)
自動車用	353	351	-0.6%	353	351	-2	-0.6%
汎用	454	478	5.4%	454	478	24	5.4%
工業用	381	400	5.0%	381	400	19	5.0%
ファインケミカル	84	86	2.9%	84	86	2	2.9%
その他 ^{※1}	468	545	16.4%	468	526	58	12.4%
合計	1,740	1,861	6.9%	1,740	1,842	101	5.8%
営業利益 ^{※2}	95	53 ^{※3}	-44.5%	97	78	-19	-19.3%
営業利益率	5.5%	2.8%	-2.6pt	5.6%	4.2%	-	-1.3pt

※3 短信ベースには、特別退職金c.22億円、NPCS設立に伴う登録免許税5億円を含む

主な増減要因

- 自動車用 : 半導体不足などによる部品供給の停滞を引き続き受けるも、自動車生産台数（前年同期比+0%^{※4}）が大きく落ち込んだ前年からの反動増が下期以降に発現し、前期並みにとどまる
- 汎用 : コロナ影響の再拡大や原材料価格の高騰の影響を受けたものの、製品値上げや拡販に向けたプロモーションが奏功し、増収
- 工業用 : コロナ影響や市況の回復遅延の影響も、原材料価格の高騰に対する価格転嫁が進展し、増収
- 営業利益 : 製品値上げや販管費の抑制を進めるも、国内機能会社（NPCS）にかかる費用を計上したことにより、減益（短信ベースでは、特別退職金c.22億円、NPCS設立に伴う登録免許税5億円を含む）

※1 その他には船舶（海外を含む）・自動車補修等の事業を含む

※2 2022年第1四半期より、国内機能会社（NPCS）にかかる費用を日本セグメントに計上（2021年の同費用相当額は、調整項目として表示）

※4 IHS Markit

3-5. Nipsea (Nipsea中国)

(億円)		短信ベース			実質ベース			
		2021年 通期	2022年 通期	YoY (%)	2021年 通期	2022年 通期	YoY (額)	YoY (%)
売上収益	自動車用	384	501	30.7%	383	439	56	14.6%
	汎用	3,124	3,742	19.8%	3,124	3,280	156	5.0%
	工業用	257	241	-6.1%	257	211	-45	-17.7%
	その他 ^{※1}	26	24	-9.6%	26	21	-5	-20.7%
	合計	3,791	4,507	18.9%	3,790	3,951	161	4.2%
営業利益		359	349 ^{※2}	-2.5%	365	377	13	3.5%
営業利益率		9.5%	7.8%	-1.7pt	9.6%	9.6%	-	-0.1pt

※2 中国における貸倒引当金134億円を含む

主な増減要因

- 自動車用 : 半導体不足やコロナ影響による部品供給の停滞を受けたものの、前年に大きく落ち込んだ自動車生産台数の反動増（前年同期比+10%^{※3}）や原材料価格の高騰に伴う値上げの浸透により、増収
- 汎用 : DIYは、製品値上げの浸透や3～6級都市での販売好調により、+12%増収
Projectは、軟調な不動産市場の影響を受けて、-10%減収
- 工業用 : コイルや一般工業用、粉体塗料などの全事業がコロナ影響を受けて販売不振となり、減収
- 営業利益 : 自動車用や汎用の増収効果や製品値上げの浸透により、増益（短信ベースでは、引当金134億円の計上を含む）

3-6. Nipsea (Nipsea中国以外^{※1})

(億円)

	短信ベース			実質ベース			
	2021年 通期	2022年 通期 ^{※2}	YoY (%)	2021年 通期	2022年 通期 ^{※2}	YoY (額)	YoY (%)
売上収益	1,925	2,578	33.9%	1,925	2,889	963	50.0%
営業利益	330	378	14.5%	328	380	52	15.8%
営業利益率	17.1%	14.6%	-2.5pt	17.0%	13.1%	-	-3.9pt

※1 PT Nipsea社 (インドネシア)、Betek Boya社 (トルコ) の業績を含む (詳細は次ページ参照)

主な増減要因

- マレーシアグループ : マレーシアやタイ (汎用)、バングラデシュにおける製品値上げの浸透などによる成長やVital Technical社の貢献により、増収
- シンガポールグループ : シンガポールやベトナム、スリランカ、ミャンマーなどでの製品値上げの浸透とDIYにおける競争優位性が奏功し、増収
- タイグループ : 自動車生産台数が大きく落ち込んだ前年からの反動増 (前年同期比+11%^{※3}) と製品値上げの浸透により、増収
- 営業利益 : 原材料費率の悪化も、増収効果により、増益

3-7. PT Nipsea社 (インドネシア)・Betek Boya社 (トルコ)

(億円)

		短債ベース			実質ベース			
		2021年 通期	2022年 通期	YoY (%)	2021年 通期	2022年 通期	YoY (額)	YoY (%)
PT Nipsea社 (インドネシア)	売上収益	395	523	32.5%	395	458	63	15.9%
	営業利益	118	167	42.1%	131	146	15	11.3%
	営業利益率	29.7%	31.9%	2.2pt	33.2%	31.9%	-	-1.3pt
	営業利益率※1	33.9%	32.4%	-1.5pt	33.8%	32.4%	-	-1.4pt
		短債ベース			実質ベース			
		2021年 通期※2	2022年 通期※3	YoY (%)	2021年 通期※2	2022年 通期※3	YoY (額)	YoY (%)
Betek Boya社 (トルコ)	売上収益	492	705	43.3%	492	1,236	744	151.3%
	営業利益	75	61	-18.3%	75	100	25	33.1%
	営業利益率	15.2%	8.7%	-6.5pt	15.2%	8.1%	-	-7.2pt

※3 超インフレ会計を適用後の数値 (通期影響額:売上収益c.+19億円、営業利益c.-64億円)

PT Nipsea社 (インドネシア)

- 売上収益 : 製品値上げや販売網の拡大、代理店の拡充、CCMの普及などによる力強い成長により、増収
- 営業利益 : 製品値上げや広告宣伝費の抑制、製造・販管費の節約に向けた事業効率化の奏功により、増益

Betek Boya社 (トルコ)

- 売上収益 : 製品値上げの浸透に加え、代理店の拡充、販売店での取り扱いシェアの向上、ブランド戦略の奏功により、増収
- 営業利益 : 超インフレ会計の適用による影響※3や原材料費率の悪化も、増収効果により、増益

3-8. DuluxGroup^{※1}

(億円)		短信ベース			実質ベース			
		2021年 通期	2022年 通期	YoY (%)	2021年 通期	2022年 通期	YoY (額)	YoY (%)
売上収益	汎用	904	1,999	121.2%	904	949	45	4.9%
	工業用	74	91	23.5%	74	83	9	12.0%
	塗料周辺	784	1,058	34.9%	784	842	57	7.3%
	合計	1,762	3,149	78.7%	1,762	1,873	111	6.3%
営業利益		190	297	55.8%	199	233	34	17.1%
営業利益率		10.8%	9.4%	-1.4pt	11.3%	12.4%	-	1.2pt
営業利益率 ^{※2}		11.5%	10.9%	-0.6pt	12.0%	13.1%	-	1.1pt

※1 短信ベースには、新規連結のCromology社、JUB社の業績を含む（詳細は次ページ参照）

主な増減要因

- 汎用 : 主に原材料高騰に対応した製品値上げが、数量減を一部補い、増収
- 塗料周辺 : プロ向け市場における販売数量の増加と製品値上げにより、増収
- 営業利益 : プロ向け販売好調による増収効果に加え、原材料価格が高騰する中でマージン・コスト管理を徹底したことにより、増益。
短信ベースでは、Cromology社、JUB社の業績を含む

3-9. 新規連結:Cromology社(欧州)・JUB社(欧州)

(億円)

		短信ベース			実質ベース			
		2021年 通期	2022年 通期	YoY (%)	2021年 通期	2022年 通期	YoY (額)	YoY (%)
Cromology社 (欧州)	売上収益	-	975	-	-	-	-	-
	営業利益	-	41	-	-	-	-	-
	営業利益率	-	4.2%	-	-	-	-	-
	営業利益率※1	-	7.1%	-	-	-	-	-

		短信ベース			実質ベース			
		2021年 通期	2022年 通期 ※2	YoY (%)	2021年 通期	2022年 通期	YoY (額)	YoY (%)
JUB社 (欧州)	売上収益	-	109	-	-	-	-	-
	営業利益	-	1	-	-	-	-	-
	営業利益率	-	0.6%	-	-	-	-	-
	営業利益率※3	-	5.5%	-	-	-	-	-

Cromology社(欧州) (ご参考:現地通貨ベース概算/売上収益 YoY+2.2%)

- 売上収益 (現地通貨ベース) : 原材料価格の高騰に対応した製品値上げにより、増収。ただし、フランスを中心に軟調な市況環境が継続し、数量面では前期並み
- 営業利益 (現地通貨ベース) : 製品値上げやコスト管理を進めるも、主に数量減(フランス)と未曾有の原材料価格の高騰により、減益

JUB社(欧州) (ご参考:現地通貨ベース概算/売上収益 YoY+12.6%)

- 売上収益 (現地通貨ベース) : 原材料価格の高騰に対応した製品値上げにより、増収。ただし、軟調な市況環境が継続し、数量面では前期並み
- 営業利益 (現地通貨ベース) : 製品ミックスの改善とコスト管理の徹底によって、原材料価格や人件費、エネルギーコストの増加を吸収し、増益

3-10. 米州

(億円)		短信ベース			実質ベース			
		2021年 通期	2022年 通期	YoY (%)	2021年 通期	2022年 通期	YoY (額)	YoY (%)
売上収益	自動車用	233	323	38.4%	233	269	36	15.3%
	汎用	518	657	26.8%	518	549	31	6.0%
	ファインケミカル	13	15	23.1%	13	13	0	2.9%
	合計	764	995	30.3%	764	831	67	8.8%
営業利益		36	81 ^{※1}	124.3%	36	50	14	37.6%
営業利益率		4.7%	8.1%	3.4pt	4.7%	6.0%	-	1.3pt

主な増減要因

- 自動車用 : 半導体不足の影響などは継続するも、自動車生産台数が大幅に落ち込んだ前年からの反動増（前年同期比+11%^{※2}）もあり、増収
- 汎用 : 原材料価格の高騰に対応した複数の製品値上げが奏功し、増収
- 営業利益 : 自動車用での増収効果に加え、原材料価格や人件費、物流費の高騰に対応した製品値上げによる汎用での増収効果もあり、増益

＜お問い合わせ先＞

日本ペイントホールディングス株式会社 インベスターリレーション部

TEL +81 (0) 50-3131-7419 Email ir_kouhou@nipponpaint.jp

本資料は、作成時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして実際の業績等は、これらと異なる可能性があります。
万一この情報に基づいて被ったいかなる損害につきましても当社および情報提供者は一切責任を負わないことをご承知おきください。

2022年12月期 第4四半期決算説明資料 参考データ

2023年2月14日
日本ペイントホールディングス株式会社

－目次－

1. セグメント別 売上収益・営業利益推移 (旧セグメント)	2
2. セグメント別 売上収益・営業利益推移 (新セグメント)	4
3. DuluxGroup社・Cromology社・JUB社・Betek Boya社・PT Nipsea社 売上収益・営業利益推移	6
4. 調整項目の内訳 (第4四半期 FY2021 vs FY2022)	7
5. 調整項目の内訳 (通期 FY2021 vs FY2022)	9
6. 主要財務データ	11
7. 主要市況データ	12

1. セグメント別 売上収益・営業利益推移 (旧セグメント)

(億円)		2018年					2019年					2020年※1					2021年※1				
		1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
日本	自動車用	115	111	106	121	453	119	114	113	102	449	102	55	89	101	347	102	85	76	89	353
	汎用 (建築・重防食)	106	120	112	130	468	110	128	126	118	482	103	111	106	117	437	99	119	114	121	454
	工業用	95	100	100	112	406	100	102	101	104	407	91	84	85	94	353	90	96	96	100	381
	ファインケミカル	22	22	21	24	89	22	22	22	21	87	20	17	18	24	79	23	24	20	18	84
	その他※2	91	106	107	107	412	88	96	101	116	401	92	95	107	111	405	96	91	94	93	374
	売上収益	430	459	447	493	1,828	438	463	464	461	1,826	408	362	403	447	1,620	410	415	400	421	1,646
	営業利益※3	87	73	59	76	296	81	60	52	42	234	51	18	41	52	161	44	30	14	16	103
日本	営業利益率※3	20.3%	15.9%	13.3%	15.5%	16.2%	18.4%	12.9%	11.3%	9.1%	12.8%	12.5%	4.9%	10.1%	11.6%	9.9%	10.7%	7.1%	3.4%	3.7%	6.3%
	一過性要因※4	23	-	-	-	23	20	-9	-11	-11	-10	-	-	2	0	2	-	-	-1	-0	-1
オセアニア	汎用	-	-	-	-	-	-	-	66	180	246	170	189	200	211	771	215	216	220	253	904
	工業用	-	-	-	-	-	-	-	5	15	20	13	12	16	15	57	16	19	19	20	74
	塗料周辺	-	-	-	-	-	-	-	61	149	210	135	149	186	185	655	184	192	197	212	784
	売上収益	-	-	-	-	-	-	-	131	344	476	318	350	403	412	1,483	415	427	436	485	1,762
	営業利益	-	-	-	-	-	-	-	28	31	59	33	46	52	22	154	57	53	51	29	190
	営業利益率	-	-	-	-	-	-	-	21.4%	8.9%	12.3%	10.5%	13.2%	13.0%	5.4%	10.4%	13.8%	12.4%	11.7%	6.0%	10.8%
	一過性要因※4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-4	-4	-8
米州	自動車用	72	70	65	67	273	67	67	63	62	259	60	25	64	62	211	62	61	55	55	233
	汎用 (建築)	100	120	117	109	446	99	127	121	107	454	109	120	124	113	465	112	143	134	129	518
	ファインケミカル	7	8	8	8	31	8	8	7	8	31	7	6	6	4	24	3	3	2	4	13
	その他※2	0	1	0	0	2	0	1	1	0	2	0	1	0	0	2	-	-	-	-	-
	売上収益	179	198	190	185	752	175	203	191	177	746	177	151	194	179	701	177	207	192	188	764
	営業利益	9	20	13	7	50	6	21	13	10	50	8	4	22	11	45	9	18	12	-3	36
	営業利益率	5.2%	10.2%	7.1%	3.8%	6.6%	3.6%	10.2%	6.7%	5.9%	6.7%	4.7%	2.4%	11.2%	6.4%	6.4%	5.2%	8.8%	6.2%	-1.8%	4.7%
その他	自動車用※5	36	32	28	33	128	32	30	26	30	118	4	1	4	5	14	5	4	3	5	16
	汎用	-	-	-	-	-	-	-	47	42	88	52	41	68	48	210	67	75	66	62	271
	工業用	1	1	0	1	3	1	0	8	9	18	8	7	10	11	37	11	12	14	14	50
	ファインケミカル	2	1	2	2	8	2	3	3	3	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他※2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	3	-	-	-	-	-
	塗料周辺	-	-	-	-	-	-	-	23	22	46	20	25	33	34	112	36	50	37	47	171
	売上収益	39	34	30	36	139	35	33	107	105	280	84	75	117	100	376	119	141	120	128	508
その他	営業利益	1	1	-2	-6	-5	-1	-3	8	-73	-70	11	7	22	15	54	15	14	13	30	71
	営業利益率	3.4%	2.3%	-6.0%	-15.5%	-3.8%	-2.6%	-10.4%	7.1%	-69.4%	-24.9%	13.3%	8.7%	18.6%	14.9%	14.4%	12.4%	9.8%	10.7%	23.4%	14.1%
その他	一過性要因※4	-	-	-	-	-	-	-	-	-78	-78	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 欧州自動車用事業・インド事業に関しウットラムへの譲渡 (2021年8月10日発表) に伴い非継続事業へ分類したこと、および2021年4Qよりクラウドコンピューティング契約に関する会計方針を変更したことに伴い2020年以降の遡及修正を実施。

2020年1Q・2Q・3Q、2021年1Q・2Q・3Qはプロフォーマ値

※2 その他には船舶・自動車補修等の事業を含む

※3 日本セグメントからの本部費用の調整項目への変更に、2019年は実施前、2020年以降は実施後の値を掲載

※4 一過性要因として、従来開示してきた調整項目のうち、補助金・保険金他 (補助金収入・保険金収入・固定資産売却益・国内再編プロジェクト)、M&A関連費用、PPAに伴う一過性費用、減損損失、貸倒引当金の合計金額を掲載

※5 Nippon Paint Turkey社の自動車用事業

1. セグメント別 売上収益・営業利益推移 (旧セグメント)

(億円)

		2018年					2019年					2020年※1					2021年※1				
		1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
アジア	自動車用	185	196	176	185	742	165	172	159	175	671	117	113	150	182	563	182	180	158	205	725
	汎用 (建築・重防食)	546	622	640	502	2,311	543	656	653	585	2,437	405	660	753	708	2,526	788	1,047	1,078	1,012	3,924
	工業用	64	76	75	63	279	65	68	66	57	256	51	58	67	68	244	78	92	85	87	342
	ファインケミカル	16	18	17	15	66	15	16	15	16	60	12	11	14	17	54	16	17	16	19	68
	その他※2	33	37	38	53	160	37	39	42	49	168	32	37	42	46	157	42	52	50	64	208
	塗料周辺	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	11	11	34
	売上収益	844	949	947	818	3,557	825	952	934	881	3,592	617	880	1,027	1,021	3,545	1,106	1,401	1,397	1,399	5,302
	営業利益	121	136	148	119	524	115	142	144	107	508	71	145	172	166	553	178	161	106	163	609
	営業利益率	14.3%	14.3%	15.7%	14.6%	14.7%	13.9%	14.9%	15.4%	12.2%	14.1%	11.5%	16.4%	16.7%	16.2%	15.6%	16.1%	11.5%	7.6%	11.6%	11.5%
	一過性要因※3	19	10	25	18	71	1	7	19	-25	2	1	8	3	20	32	-11	4	-25	13	-20

■アジア内訳

Nipsea 中国	自動車用	102	110	88	94	394	82	90	75	91	338	55	75	85	102	318	93	98	86	107	384
	汎用 (建築・重防食)	434	522	532	403	1,892	443	554	553	477	2,027	315	598	652	595	2,160	573	850	921	781	3,124
	工業用	46	58	58	46	209	46	50	48	40	184	33	47	51	51	181	57	71	64	65	257
	その他※2	4	4	5	10	23	8	7	7	5	26	4	6	7	7	23	6	7	5	7	26
	売上収益	586	694	683	554	2,517	579	702	683	612	2,575	406	725	795	755	2,681	729	1,025	1,076	960	3,791
	営業利益	87	106	113	78	384	91	114	113	83	401	47	139	135	118	439	94	100	72	92	359
Nipsea 中国以外	営業利益率	14.9%	15.2%	16.6%	14.1%	15.3%	15.7%	16.2%	16.6%	13.6%	15.6%	11.5%	19.2%	17.0%	15.6%	16.4%	12.8%	9.8%	6.7%	9.6%	9.5%
	一過性要因※3	19	10	25	18	71	1	7	19	1	28	1	7	3	19	29	2	4	-25	13	-6
	売上収益	259	255	263	264	1,041	246	251	251	270	1,017	211	155	232	266	864	376	376	320	438	1,511
	営業利益	33	30	35	41	140	24	28	30	24	107	24	6	37	48	114	85	61	34	70	250
調整	営業利益率	13.0%	11.8%	13.4%	15.7%	13.5%	9.8%	11.3%	12.2%	9.0%	10.5%	11.4%	3.6%	15.8%	17.9%	13.2%	22.5%	16.2%	10.6%	16.1%	16.5%
	一過性要因※3	-	-	-	-	-	-	-	-	-26	-26	-	1	1	1	3	-14	-	-	-	-14
連結合計	売上収益	1,492	1,640	1,613	1,532	6,277	1,474	1,651	1,827	1,969	6,920	1,604	1,818	2,144	2,160	7,726	2,227	2,591	2,545	2,620	9,983
	営業利益	219	230	219	197	865	201	218	244	117	781	154	200	286	235	876	247	243	171	215	876
	営業利益率	14.7%	14.0%	13.6%	12.9%	13.8%	13.6%	13.2%	13.4%	5.9%	11.3%	9.6%	11.0%	13.4%	10.9%	11.3%	11.1%	9.4%	6.7%	8.2%	8.8%
	一過性要因※3	42	10	25	18	94	21	-2	8	-114	-87	1	8	2	18	29	-37	-7	-30	6	-68

※1 欧州自動車用事業・インド事業に関しウットラムへの譲渡 (2021年8月10日発表) に伴い非継続事業へ分類したこと、および2021年4Qよりクラウドコンピューティング契約に関する会計方針を変更したことに伴い2020年以降の遡及修正を実施。
2020年1Q・2Q・3Q、2021年1Q・2Q・3Qはプロフォーマ値

※2 その他には船舶・自動車補修等の事業を含む

※3 一過性要因として、従来開示してきた調整項目のうち、補助金・保険金他 (補助金収入・保険金収入・固定資産売却益・国内再編プロジェクト)、M&A関連費用、PPAに伴う一過性費用、減損損失、貸倒引当金の合計金額を掲載

2. セグメント別 売上収益・営業利益推移 (新セグメント)

(億円)

2021年※1

2022年

		1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
日本	自動車用	102	85	76	89	353	87	74	91	100	351
	汎用 (建築・重防食)	99	119	114	121	454	104	128	119	127	478
	工業用	90	96	96	100	381	91	102	102	105	400
	ファインケミカル	23	24	20	18	84	20	23	23	21	86
	その他※2	112	115	117	123	468	117	130	137	160	545
	売上収益	426	439	423	451	1,740	418	457	472	513	1,861
	営業利益	43	28	12	13	95	3	22	18	10	53
	営業利益率	10.0%	6.4%	2.8%	2.9%	5.5%	0.7%	4.9%	3.8%	1.9%	2.8%
	一過性要因※3	-	-	-1	-0	-1	-5	-	-	-22	-27
Dulux Group	汎用	215	216	220	253	904	443	517	514	526	1,999
	工業用	16	19	19	20	74	19	23	25	24	91
	塗料周辺	184	192	197	212	784	218	251	306	283	1,058
	売上収益	415	427	436	485	1,762	680	791	845	833	3,149
	営業利益	57	53	51	29	190	68	93	77	58	297
	営業利益率	13.8%	12.4%	11.7%	6.0%	10.8%	10.0%	11.8%	9.2%	7.0%	9.4%
	一過性要因※3	-	-	-4	-4	-8	-9	-2	-2	-6	-18

■DuluxGroup内訳

Dulux Group社	汎用	215	216	220	253	904	237	245	273	291	1,046
	工業用	16	19	19	20	74	19	23	25	24	91
	塗料周辺	184	192	197	212	784	198	222	260	248	928
	売上収益	415	427	436	485	1,762	454	491	558	563	2,066
	営業利益	57	53	51	29	190	53	58	76	68	255
	営業利益率	13.8%	12.4%	11.7%	6.0%	10.8%	11.7%	11.8%	13.7%	12.0%	12.3%
	一過性要因※3	-	-	-4	-4	-8	-9	-2	10	-1	-2
Cromology社	売上収益	-	-	-	-	-	226	281	238	229	975
	営業利益	-	-	-	-	-	14	32	-4	-2	41
	営業利益率	-	-	-	-	-	6.4%	11.6%	-1.5%	-1.0%	4.2%
	一過性要因※3	-	-	-	-	-	-	-	-12	-0	-12
JUB社	売上収益	-	-	-	-	-	-	19	49	41	109
	営業利益	-	-	-	-	-	-	3	5	-7	1
	営業利益率	-	-	-	-	-	-	15.2%	9.5%	-16.7%	0.6%
	一過性要因※3	-	-	-	-	-	-	-	-	-4	-4

- ※1 ①欧州自動車用事業・インド事業に関しウットラムへの譲渡 (2021年8月10日発表) に伴い非継続事業へ分類したこと、②2021年4Qよりクラウドコンピューティング契約に関する会計方針を変更したこと、
 ③PT Nipsea社 (インドネシア) においてPPAが確定したこと、④2022年1Qよりセグメント区分を変更したことに伴い、2021年1Q・2Qの遡及修正を実施。②、④に伴い、2021年3Qの遡及修正を実施。④に伴い2021年4Q・通期の遡及修正を実施。
 2021年4Qについては、プロフォーマ値
- ※2 船舶 (海外を含む) ・自動車補修等の事業を含む
- ※3 一過性要因として、従来開示してきた調整項目のうち、補助金・保険金他 (補助金収入・保険金収入・固定資産売却益・国内再編プロジェクト)、M&A関連費用、PPAに伴う一過性費用、減損損失、
 貸倒引当金、条件付対価の公正価値変動の合計金額を掲載

2. セグメント別 売上収益・営業利益推移 (新セグメント)

(億円)

2021年^{※1}

2022年

	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	
Nipsea※4	自動車用	186	184	160	210	741	212	203	245	305	965
	汎用（建築・重防食）	855	1,122	1,144	1,074	4,195	1,118	1,402	1,497	1,123	5,140
	工業用	89	104	99	101	393	94	115	108	146	463
	ファインケミカル	16	17	16	19	68	21	20	22	24	87
	その他※2	26	28	26	34	115	29	35	37	38	138
	塗料周辺	36	63	48	58	205	63	89	80	60	292
	売上収益	1,208	1,518	1,493	1,496	5,716	1,536	1,865	1,989	1,696	7,085
	営業利益	195	177	121	196	688	165	59	277	226	727
	営業利益率	16.1%	11.6%	8.1%	13.1%	12.0%	10.7%	3.2%	13.9%	13.3%	10.3%
	一過性要因※3	-11	4	-25	13	-20	4	-110	33	4	-70

■Nipsea内訳

Nipsea 中国	自動車用	93	98	86	107	384	110	100	119	173	501
	汎用 (建築・重防食)	573	850	921	781	3,124	793	1,049	1,119	781	3,742
	工業用	57	71	64	65	257	54	62	63	63	241
	その他 ^{※2}	6	7	5	7	26	6	5	6	6	24
	売上収益	729	1,025	1,076	960	3,791	963	1,216	1,307	1,022	4,507
	営業利益	94	100	72	92	359	80	-18	190	97	349
	営業利益率	12.8%	9.8%	6.7%	9.6%	9.5%	8.3%	-1.4%	14.6%	9.5%	7.8%
	一過性要因 ^{※3}	2	4	-25	13	-6	4	-110	33	4	-70
Nipsea 中国以外 ^{※4}	売上収益	479	493	417	536	1,925	573	648	682	674	2,578
	営業利益	101	76	49	103	330	85	76	87	129	378
	営業利益率	21.1%	15.5%	11.7%	19.3%	17.1%	14.9%	11.8%	12.8%	19.1%	14.6%
	一過性要因 ^{※3}	-14	-	-	-	-14	-	-	-	-	-
米州	自動車用	62	61	55	55	233	70	76	91	86	323
	汎用 (建築・重防食)	112	143	134	129	518	143	178	178	158	657
	ファインケミカル	3	3	2	4	13	4	3	4	5	15
	売上収益	177	207	192	188	764	216	257	273	249	995
	営業利益	9	18	12	-3	36	9	42	22	8	81
	営業利益率	5.2%	8.8%	6.2%	-1.8%	4.7%	4.0%	16.3%	8.0%	3.3%	8.1%
	一過性要因 ^{※3}	-	-	-	-	-	-	16	2	0	18
調整	売上収益	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	営業利益	-57	-33	-25	-19	-134	-10	-8	-12	-8	-39
	一過性要因 ^{※3}	-26	-10	-	-2	-39	-	-	-	-0	-0
連結合計	売上収益	2,227	2,591	2,545	2,620	9,983	2,851	3,370	3,579	3,291	13,090
	営業利益	247	243	171	215	876	234	208	382	295	1,119
	営業利益率	11.1%	9.4%	6.7%	8.2%	8.8%	8.2%	6.2%	10.7%	8.9%	8.5%
	一過性要因 ^{※3}	-37	-7	-30	6	-68	-10	-96	33	-24	-98

- ※1 ①欧州自動車用事業・インド事業に関しウットラムへの譲渡 (2021年8月10日発表) に伴い非継続事業へ分類したこと、②2021年4Qよりクラウドコンピューティング契約に関する会計方針を変更したこと、
 ③PT Nipsea社 (インドネシア) においてPPAが確定したこと、④2022年1Qよりセグメント区分を変更したことに伴い、2021年1Q・2Qの遡及修正を実施。②、④に伴い、2021年3Qの遡及修正を実施。④に伴い2021年4Q・通期の遡及修正を実施。
 2021年4Qについては、プロフォーマ値
- ※2 自動車補修等の事業を含む
- ※3 一過性要因として、従来開示してきた調整項目のうち、補助金・保険金他 (補助金収入・保険金収入・固定資産売却益・国内再編プロジェクト)、M&A関連費用、PPAに伴う一過性費用、減損損失、
 賞引当金、条件付対価の公正価値変動の合計金額を掲載
- ※4 2022年2Qより、トルコ子会社に対する超インフレ会計を適用。2022年は適用後の数値

3. DuluxGroup社・Cromology社・JUB社・Betek Boya社・PT Nipsea社 売上収益・営業利益推移

(億円)		2019年※1					2020年※1					2021年※1					2022年※1				
		1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
DuluxGroup (連結)	売上収益	連結前		131	344	476	318	350	403	412	1,483	415	427	436	485	1,762	680	791	845	833	3,149
	営業利益			28	31	59	33	46	52	22	154	57	53	51	29	190	68	93	77	58	297
	営業利益率			21.4%	8.9%	12.3%	10.5%	13.2%	13.0%	5.4%	10.4%	13.8%	12.4%	11.7%	6.0%	10.8%	10.0%	11.8%	9.2%	7.0%	9.4%
DuluxGroup社 (豪州)	売上収益	連結前		131	344	476	318	350	403	412	1,483	415	427	436	485	1,762	454	491	558	563	2,066
	営業利益			28	31	59	33	46	52	22	154	57	53	51	29	190	53	58	76	68	255
	営業利益率			21.4%	8.9%	12.3%	10.5%	13.2%	13.0%	5.4%	10.4%	13.8%	12.4%	11.7%	6.0%	10.8%	11.7%	11.8%	13.7%	12.0%	12.3%
Cromology社 (欧州)	売上収益	連結前					連結前					連結前					226	281	238	229	975
	営業利益	連結前					連結前					連結前					14	32	-4	-2	41
	営業利益率	連結前					連結前					連結前					6.4%	11.6%	-1.5%	-1.0%	4.2%
JUB社 (欧州)	売上収益	連結前					連結前					連結前						19	49	41	109
	営業利益	連結前					連結前					連結前						3	5	-7	1
	営業利益率	連結前					連結前					連結前						15.2%	9.5%	-16.7%	0.6%
Betek Boya社 (トルコ) ※2	売上収益	連結前		78	73	151	80	74	113	95	362	114	137	117	123	492	136	200	201	168	705
	営業利益			10	12	22	10	6	20	13	49	15	15	15	29	75	9	13	11	28	61
	営業利益率			13.1%	16.1%	14.6%	12.4%	8.3%	18.0%	13.6%	13.6%	13.1%	11.0%	13.2%	23.7%	15.2%	6.4%	6.6%	5.5%	16.8%	8.7%
PT Nipsea社 (インドネシア)	売上収益	連結前					連結前					99	97	81	117	395	131	119	136	137	523
	営業利益	連結前					連結前					25	32	20	41	118	42	32	39	54	167
	営業利益率	連結前					連結前					25.2%	32.3%	24.1%	35.4%	29.7%	31.9%	26.5%	29.0%	39.5%	31.9%
為替レート (期中平均)	円/米ドル	1Q	2Q	3Q		通期	1Q	2Q	3Q		通期	1Q	2Q	3Q		通期	1Q	2Q	3Q		通期
	円/人民元																				
	円/豪ドル																				
	円/ユーロ																				
	円/トルコリラ																				
	円/インドネシアルピア																				

※1 各社業績は、Cromology社・JUB社を除きセグメントベース（内部取引消去後、PPA反映後）を掲載。Cromology社は内部取引消去前、PPA反映後（2022年3Q・4Q・通期のみ）。JUB社は内部取引消去前、PPA反映後（2022年4Q・通期のみ）。

またDuluxGroup社は2019年9月、BetekBoya社は2019年7月、PT Nipsea社は2021年1月、Cromology社は2022年1月、JUB社は2022年6月より当社業績に連結

※2 セグメント区分の変更により、セグメント間取引がセグメント内取引に変わった影響に伴い、2021年1Q以降の数値に関して遡及修正を実施

また2022年2Qより、トルコ子会社に対する超インフレ会計を適用。2022年は適用後の数値

※3 期末日レート

4. 調整項目の内訳 (第4四半期 FY2021 vs FY2022)

(億円)		2021年 4Q						2022年 4Q					
		為替影響	補助金等※1	M&A 関連費用	貸倒 引当金	新規連結 影響	合計	為替影響	補助金等※1	M&A 関連費用	貸倒 引当金	新規連結 影響	合計
日本	自動車用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	汎用 (建築・重防食)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	工業用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ファインケミカル	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他※2	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	5
	売上収益	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	5
Dulux Group (連結)	営業利益	-	-0	-	-	-	-0	1	-22	-	-	-	-21
	汎用	-	-	-	-	-	-	28	-	-	-	235	263
	工業用	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	2
	塗料周辺	-	-	-	-	-	-	24	-	-	-	35	59
	売上収益	-	-	-	-	-	-	55	-	-	-	270	325
	営業利益	-	-	-4	-	-	-4	7	0	-1	-	-9	-4
■DuluxGroup内訳													
Dulux Group社	汎用	-	-	-	-	-	-	28	-	-	-	-	28
	工業用	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	2
	塗料周辺	-	-	-	-	-	-	24	-	-	-	-	24
	売上収益	-	-	-	-	-	-	55	-	-	-	-	55
	営業利益	-	-	-4	-	-	-4	7	0	-1	-	-	5
Cromology社	売上収益	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	229	229
	営業利益	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-2	-2
JUB社	売上収益	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	41	41
	営業利益	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-7	-7

※1 補助金等は補助金、固定資産売却益、国内拠点の再編プロジェクト関連、条件付対価の公正価値変動などを含む

※2 船舶 (海外を含む) ・自動車補修等の事業を含む

4. 調整項目の内訳 (第4四半期 FY2021 vs FY2022)

(億円)		2021年 4Q						2022年 4Q					
		為替影響	補助金等※1	M&A 関連費用	貸倒 引当金	新規連結 影響	合計	為替影響	補助金等※1	M&A 関連費用	貸倒 引当金	新規連結 影響	合計
Nipsea	自動車用	-0	-	-	-	-	-0	30	-	-	-	-	30
	汎用 (建築・重防食)	-1	-	-	-	-	-1	29	-	-	-	-	29
	工業用	-0	-	-	-	-	-0	-39	-	-	-	-	-39
	ファインケミカル	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	2
	その他※2	-0	-	-	-	-	-0	5	-	-	-	-	5
	塗料周辺	-	-	-	-	-	-	-42	-	-	-	-	-42
	売上収益	-2	-	-	-	-	-2	-15	-	-	-	-	-15
	営業利益	-	19	-	-6	-	13	1	6	-	-3	-	4

■Nipsea内訳

Nipsea 中国	自動車用	-0	-	-	-	-	-0	18	-	-	-	-	18
	汎用 (建築・重防食)	-1	-	-	-	-	-1	65	-	-	-	-	65
	工業用	-0	-	-	-	-	-0	6	-	-	-	-	6
	その他※2	-0	-	-	-	-	-0	1	-	-	-	-	1
	売上収益	-2	-	-	-	-	-2	89	-	-	-	-	89
	営業利益	-	19	-	-6	-	13	10	6	-	-3	-	13
Nipsea 中国以外	売上収益	-	-	-	-	-	-	-104	-	-	-	-	-104
	営業利益	-	-	-	-	-	-	-9	-	-	-	-	-9
米州	自動車用	-	-	-	-	-	-	16	-	-	-	-	16
	汎用 (建築・重防食)	-	-	-	-	-	-	30	-	-	-	-	30
	ファインケミカル	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
	売上収益	-	-	-	-	-	-	47	-	-	-	-	47
	営業利益	-	-	-	-	-	-	2	0	-	-	-	2
調整	売上収益	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	営業利益	-	-2	-	-	-	-2	0	-0	-	-	-	0
連結合計	売上収益	-2	-	-	-	-	-2	92	-	-	-	270	362
	営業利益	-	16	-4	-6	-	6	10	-16	-1	-3	-9	-19

※1 補助金等は補助金、固定資産売却益、国内拠点の再編プロジェクト関連、条件付対価の公正価値変動などを含む

※2 自動車補修等の事業を含む

5. 調整項目の内訳 (通期 FY2021 vs FY2022)

(億円)		2021年 通期						2022年 通期					
		為替影響	補助金等※1	M&A 関連費用	貸倒 引当金	新規連結 影響	合計	為替影響	補助金等※1	M&A 関連費用	貸倒 引当金	新規連結 影響	合計
日本	自動車用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	汎用 (建築・重防食)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	工業用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ファインケミカル	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他※2	-	-	-	-	-	-	19	-	-	-	-	19
	売上収益	-	-	-	-	-	-	19	-	-	-	-	19
Dulux Group (連結)	営業利益	-	-1	-	-	-	-1	2	-27	-	-	-	-25
	汎用	-	-	-	-	-	-	98	-	-	-	953	1,051
	工業用	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	9
	塗料周辺	-	-	-	-	-	-	87	-	-	-	130	217
	売上収益	-	-	-	-	-	-	193	-	-	-	1,083	1,276
	営業利益	-	-	-8	-	-	-8	24	9	-11	-	42	64
■DuluxGroup内訳													
Dulux Group社	汎用	-	-	-	-	-	-	98	-	-	-	-	98
	工業用	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	9
	塗料周辺	-	-	-	-	-	-	87	-	-	-	-	87
	売上収益	-	-	-	-	-	-	193	-	-	-	-	193
	営業利益	-	-	-8	-	-	-8	24	9	-11	-	-	22
Cromology社	売上収益	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	975	975
	営業利益	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	41	41
JUB社	売上収益	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	109	109
	営業利益	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1

※1 補助金等は補助金、固定資産売却益、国内拠点の再編プロジェクト関連、条件付対価の公正価値変動などを含む

※2 船舶 (海外を含む) ・自動車補修等の事業を含む

5. 調整項目の内訳 (通期 FY2021 vs FY2022)

(億円)		2021年 通期						2022年 通期					
		為替影響	補助金等※1	M&A 関連費用	貸倒 引当金	新規連結 影響	合計	為替影響	補助金等※1	M&A 関連費用	貸倒 引当金	新規連結 影響	合計
Nipsea	自動車用	0	-	-	-	-	0	102	-	-	-	-	102
	汎用 (建築・重防食)	1	-	-	-	-	1	319	-	-	-	-	319
	工業用	0	-	-	-	-	0	-49	-	-	-	-	-49
	ファインケミカル	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	6
	その他※2	0	-	-	-	-	0	16	-	-	-	-	16
	塗料周辺	-	-	-	-	-	-	-163	-	-	-	15	-148
	売上収益	1	-	-	-	-	1	230	-	-	-	15	245
	営業利益	-	26	-	-32	2	-4	38	48	-	-118	2	-30
■Nipsea内訳													
Nipsea 中国	自動車用	0	-	-	-	-	0	62	-	-	-	-	62
	汎用 (建築・重防食)	1	-	-	-	-	1	462	-	-	-	-	462
	工業用	0	-	-	-	-	0	30	-	-	-	-	30
	その他※2	0	-	-	-	-	0	3	-	-	-	-	3
	売上収益	1	-	-	-	-	1	556	-	-	-	-	556
	営業利益	-	26	-	-32	-	-6	42	48	-	-118	-	-28
Nipsea 中国以外	売上収益	-	-	-	-	-	-	-326	-	-	-	15	-311
	営業利益	-	-	-	-	2	2	-4	-	-	-	2	-2
米州	自動車用	-	-	-	-	-	-	54	-	-	-	-	54
	汎用 (建築・重防食)	-	-	-	-	-	-	108	-	-	-	-	108
	ファインケミカル	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	3
	売上収益	-	-	-	-	-	-	164	-	-	-	-	164
	営業利益	-	-	-	-	-	-	13	18	-	-	-	31
調整	売上収益	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	営業利益	-	-13	-26	-	-	-39	1	-0	-	-	-	1
連結合計	売上収益	1	-	-	-	-	1	606	-	-	-	1,098	1,705
	営業利益	-	12	-34	-32	2	-53	78	48	-11	-118	44	40

※1 補助金等は補助金、固定資産売却益、国内拠点の再編プロジェクト関連、条件付対価の公正価値変動などを含む

※2 自動車補修等の事業を含む

6. 主要財務データ

【設備投資・減価償却・研究開発費】

(億円)		2021年 4Q	2021年 通期	2022年 4Q	2022年 通期
設備投資	有形固定資産	138	455	106	462
	無形資産	26	47	9	36
	合計	164	502	115	498
減価償却費	有形固定資産	71	274	99	364
	無形資産	16	67	28	107
	合計	88	341	128	471
研究開発費		77	248	74	281

【その他経営指標】

	2021年 12月末	2022年 12月末
親会社所有者帰属持分比率(%)	49.1	47.0
ネットデット ^{※1} (億円)	4,293	5,744
EPS(円)	29.41	33.82

※1 ネットデット＝社債及び借入金(流動・非流動)＋その他の金融負債(流動・非流動)
－現金及び現金同等物－その他の金融資産(流動)

【連結損益計算書 為替換算レート】 ※期中平均レート

	2020年 通期	2021年 通期	2022年 通期	2023年 通期予想
円/米ドル	106.4	110.4	132.1	125.0
円/人民元	15.4	17.1	19.5	19.0
円/豪ドル	73.7	82.7	91.2	90.0
円/ユーロ	122.0	130.4	138.5	140.7
円/トルコリラ	15.2	12.5	7.1 ^{※2}	6.6
円/インドネシアルピア	－	0.0077	0.0088	0.0083

※2 期末日レート

【連結財務状態計算書 為替換算レート】 ※期末日レート

	2021年 12月末	2022年 12月末
円/米ドル	115.0	132.7
円/人民元	18.1	19.0
円/豪ドル	83.4	89.6
円/ユーロ	130.5	141.4
円/トルコリラ	9.1	7.1
円/インドネシアルピア	0.0081	0.0085

7. 主要市況データ

<塗料市況>	2019年					2020年					2021年					2022年				
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
日本-販売数量 ^{※1} (万t)	43	43	43	43	172	40	36	38	42	156	40	40	40	41	161	39	39	38	27	143

※1 日本塗料工業会発表、2022年4Qは10-11月

<自動車生産台数※2> (万台)		2019年					2020年					2021年					2022年				
		1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
日本		243	230	229	220	922	225	120	201	228	774	215	186	155	188	744	187	160	193	202	741
中国		634	579	602	757	2,572	321	603	638	774	2,335	579	572	545	671	2,368	617	546	732	713	2,608
北米	アメリカ	287	285	266	255	1,093	247	93	270	253	862	247	215	204	222	888	238	242	251	247	979
	メキシコ	99	99	95	82	375	93	28	91	91	304	82	78	69	72	301	85	81	85	79	330
	カナダ	48	51	46	47	192	38	17	41	41	136	32	25	22	26	105	32	32	29	30	123
	合計	435	435	407	384	1,660	378	138	402	385	1,302	361	318	295	320	1,294	356	356	365	356	1,432

※2 日本：2019年以前はマークラインズ発表、2020年以降はIHS Markit発表、中国：2019年以前は中国汽車工業協会発表、2020年以降はIHS Markit発表、北米：IHS Markit発表

<その他の市況・日本>	2019年					2020年					2021年					2022年				
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
新設住宅着工戸数(万戸) ^{※3}	21.6	23.4	23.3	22.3	90.5	19.4	20.5	21.0	20.7	81.5	19.1	22.1	22.5	22.0	85.6	20.0	21.8	22.5	21.6	86.0
建設機械生産台数(万台) ^{※4}	10.5	10.5	10.1	8.1	39.2	9.6	8.4	8.4	9.9	36.3	10.3	11.2	10.6	11.4	43.6	11.9	10.7	11.7	8.1	42.4
工作機械生産台数(万台) ^{※5}	1.8	1.6	1.5	1.3	6.2	1.2	1.0	1.1	1.3	4.6	1.7	1.9	1.5	1.6	6.8	1.9	1.8	1.7	1.1	6.5

※3 国土交通省発表 ※4 日本建設機械工業会発表、2022年4Qは10-11月 ※5 日本工作機械工業会発表、2022年4Qは10-11月

<ナフサ価格(当社推定)>	2019年					2020年					2021年					2022年				
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
国産ナフサ(円/KL)	41,200	45,400	40,200	41,300	42,000	44,800	25,000	30,200	31,300	32,900	38,800	47,700	53,500	62,800	50,100	64,600	86,000	81,400	72,400	76,000